

『となりのきみのクライシス』を読んで

この本は、差別や父親からの暴力、えこひいき、先生が生徒にひどいことをする、などのお話ののっています。

私は、先生にえこひいきをされている子は必ずしも、

嬉しいと思うとは限らない、むしろ嫌なんだと思いました。

この話は、子供の権利が守られていないと書かれていたし、

私も読んでそう思いました。

(そな)

『となりのきみのクライシス』を読んで

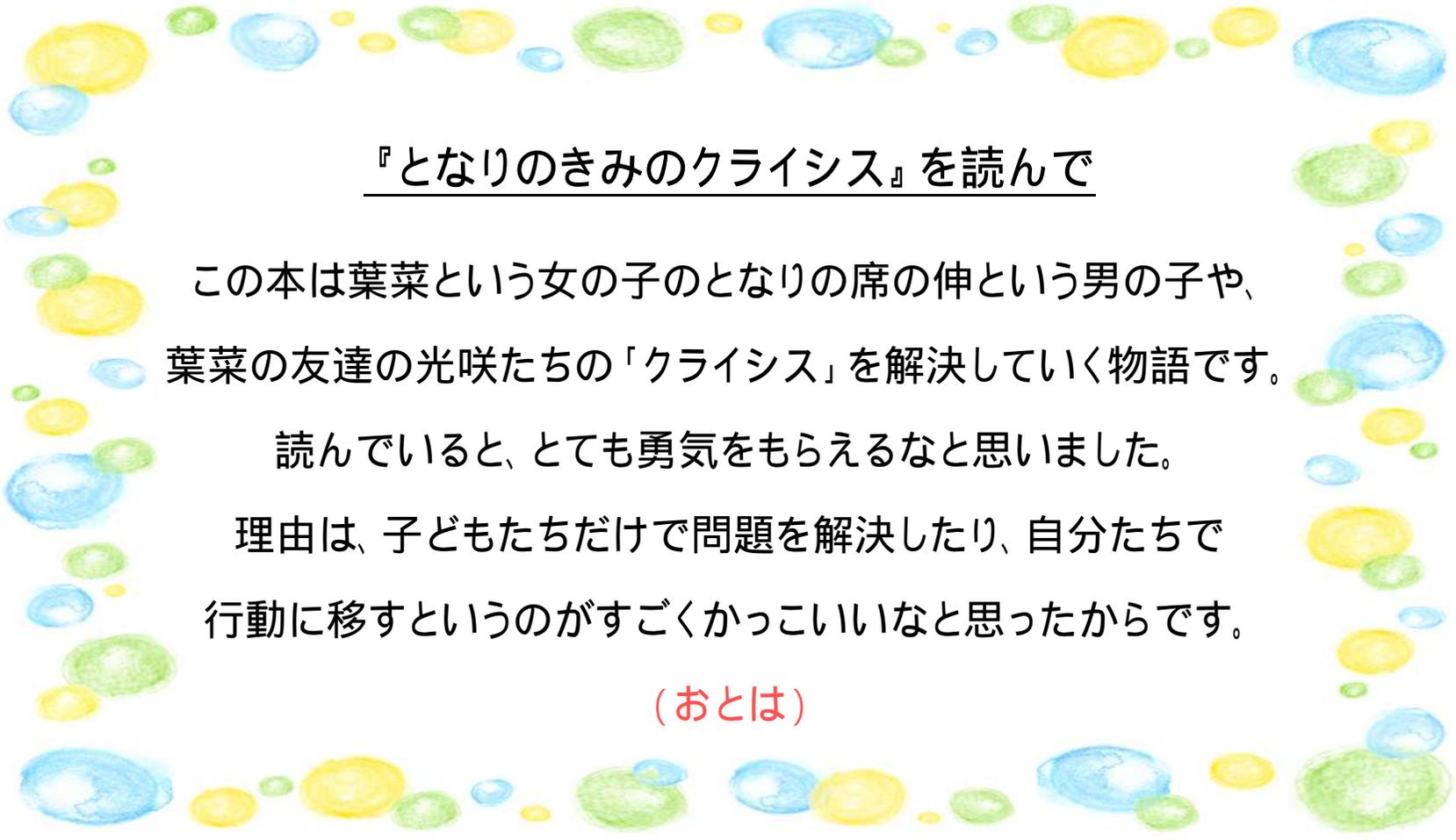
この本は子どもの権利について考えさせられる本です。父親のDV、学校でのセクハラ、母親からの過干渉、女性を見下す祖父、ある子だけをひいきする先生など、法律を破っていたり、道徳に反したりしている問題が多くでてきます。

このような理不尽な悩みに、子どもたちが立ち向かっているストーリーです。

私は暴力や差別、虐待を絶対にいけないと思います。そんなことをする大人は許せません。しかし、この本には信頼できる先生たちもいて、いっしょに問題を乗り越えていってくれます。

クライシスとは危機という意味です。身の回りにも知らないだけで、様々な危機や問題を抱えている人がいるんだなと思いました。一人で考え込まず、信頼できる誰かに相談するだけで、気持ちが楽になったり、解決の糸口が見つかったりすることを学びました。

(さくら)



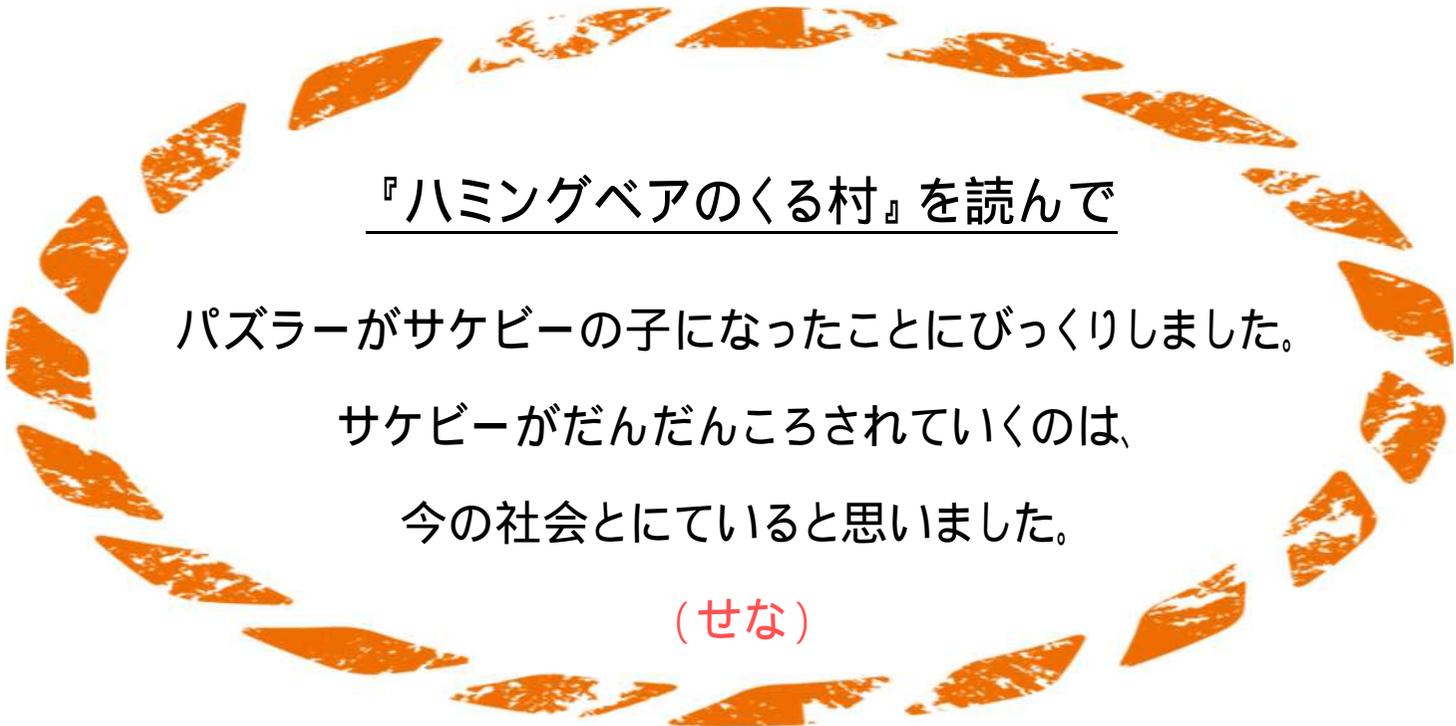
『となりのきみのクライシス』を読んで

この本は葉菜という女の子のとなりの席の伸という男の子や、
葉菜の友達的光咲たちの「クライシス」を解決していく物語です。

読んでみると、とても勇気をもらえるなと思いました。

理由は、子どもたちだけで問題を解決したり、自分たちで
行動に移すというのがすごくカッコいいなと思ったからです。

(おとは)



『ハミングベアのくる村』を読んで

パズラーがサケビーの子になったことにびっくりしました。

サケビーがだんだんころされていくのは、

今の社会とにていると思いました。

(せな)

『真夜中の4分後』を読んで

ニコラスが前に進んで、お母さんにおわかれをしたのが
すごいと思った。わたしだったら、
お母さんにおわかれなんてできないから。
また、なぜ電車なのか、なぜ0時4分なのかも分かった。

(せな)

『真夜中の4分後』を読んで

この本は、ニコラスという主人公が過去に行ったり来たりして、自分のお母さんに会いに行く話です。ニコラスには病気のお母さんがいますが、お母さんは真夜中の4分後、つまり12時4分に死んでしまいます。ニコラスは病室にいるのが辛くなって抜け出し、エレベーターで下へおりようとしたその時、今までにない「終点」と書いたボタンがあったのです。

そこは、過去にもどったり未来に行ったりするふしぎなところでした。

ニコラスは、過去に行くことを決意し、お母さんが生きているときに、お母さんにしてしまったことを

謝りに行きます。そして、ニコラスの最後の決断を知った時、

私にはできない決断だったので、ニコラスは強い男の子だなと思いました。

この本を読んで、大切な家族との日常を大切に過ごしたいと思いました。

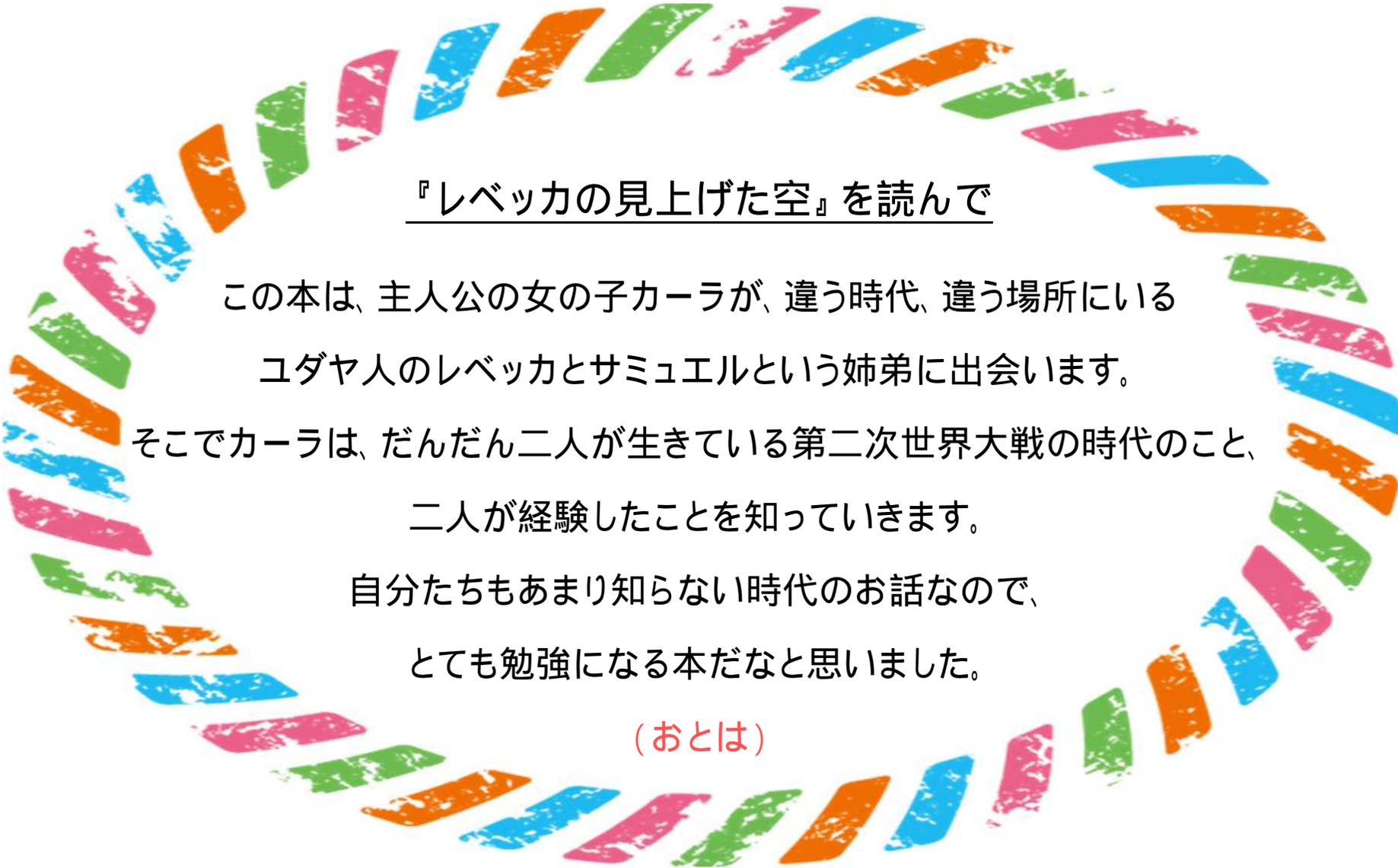
(さくら)

『真夜中の4分後』を読んで

この本はニコラスという男の子が
病気で入院しているお母さんを死なせないために
過去にもどって、未来を変えようとする物語です。

この本を読んで、自分もいつかは死ぬけれど、
死ぬまでに後悔がないように生きたいなと思いました。

(おとは)



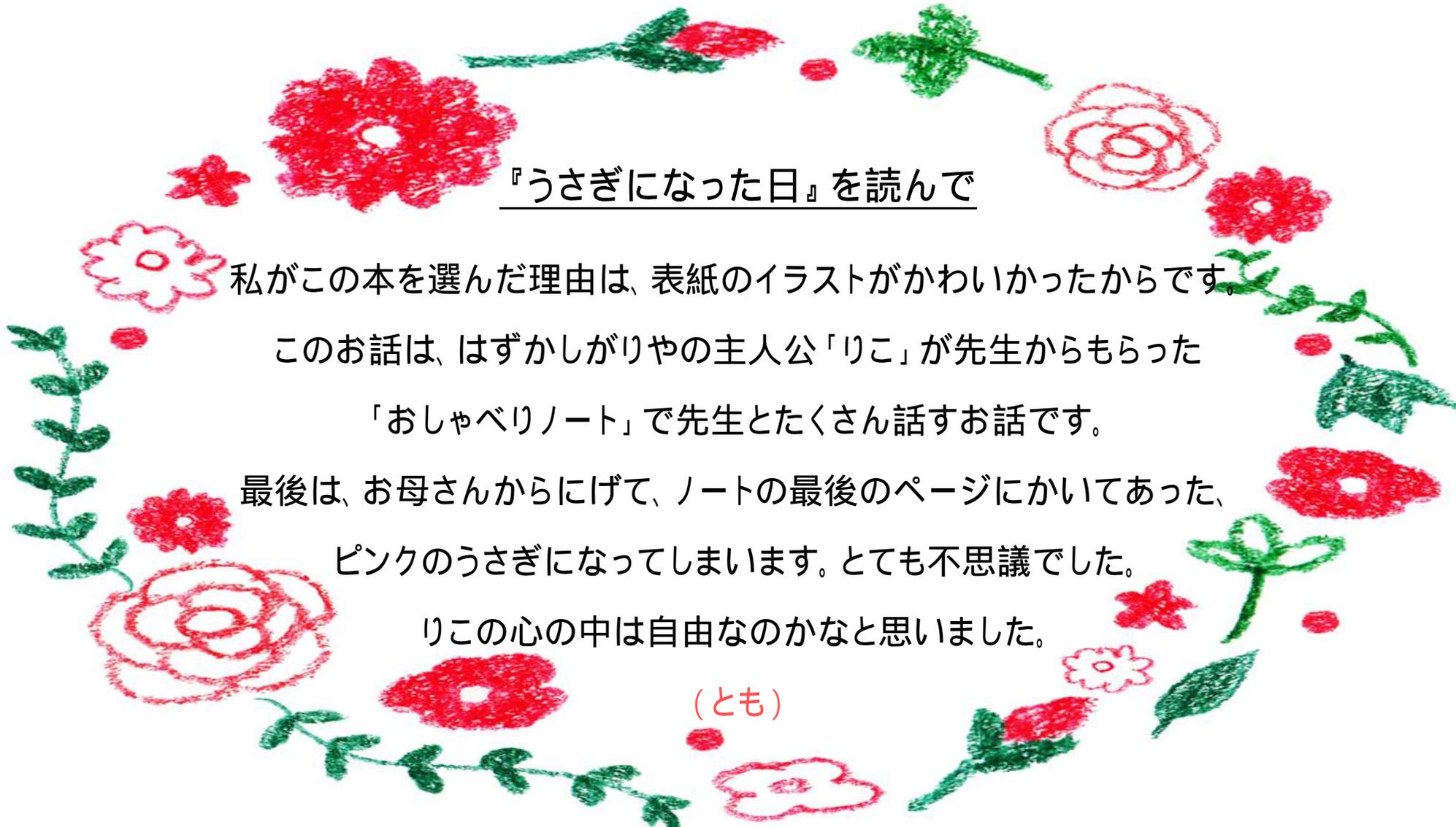
『レベッカの見上げた空』を読んで

この本は、主人公の女の子カーラが、違う時代、違う場所にいるユダヤ人のレベッカとサミュエルという姉弟に出会います。

そこでカーラは、だんだん二人が生きている第二次世界大戦の時代のこと、二人が経験したことを知っていきます。

自分たちもあまり知らない時代のお話なので、とても勉強になる本だなと思いました。

(おとは)



『うさぎになった日』を読んで

私がこの本を選んだ理由は、表紙のイラストがかわいかったからです。

このお話は、はずかしがりやの主人公「りこ」が先生からもらった

「おしゃべりノート」で先生とたくさん話すお話です。

最後は、お母さんからにげて、ノートの最後のページにかいてあった、

ピンクのうさぎになってしまいます。とても不思議でした。

りこの心の中は自由なのかなと思いました。

(とも)

『うさぎになった日』を読んで

私はこの話を読んで、「ノック」とい詩が気に入りました。

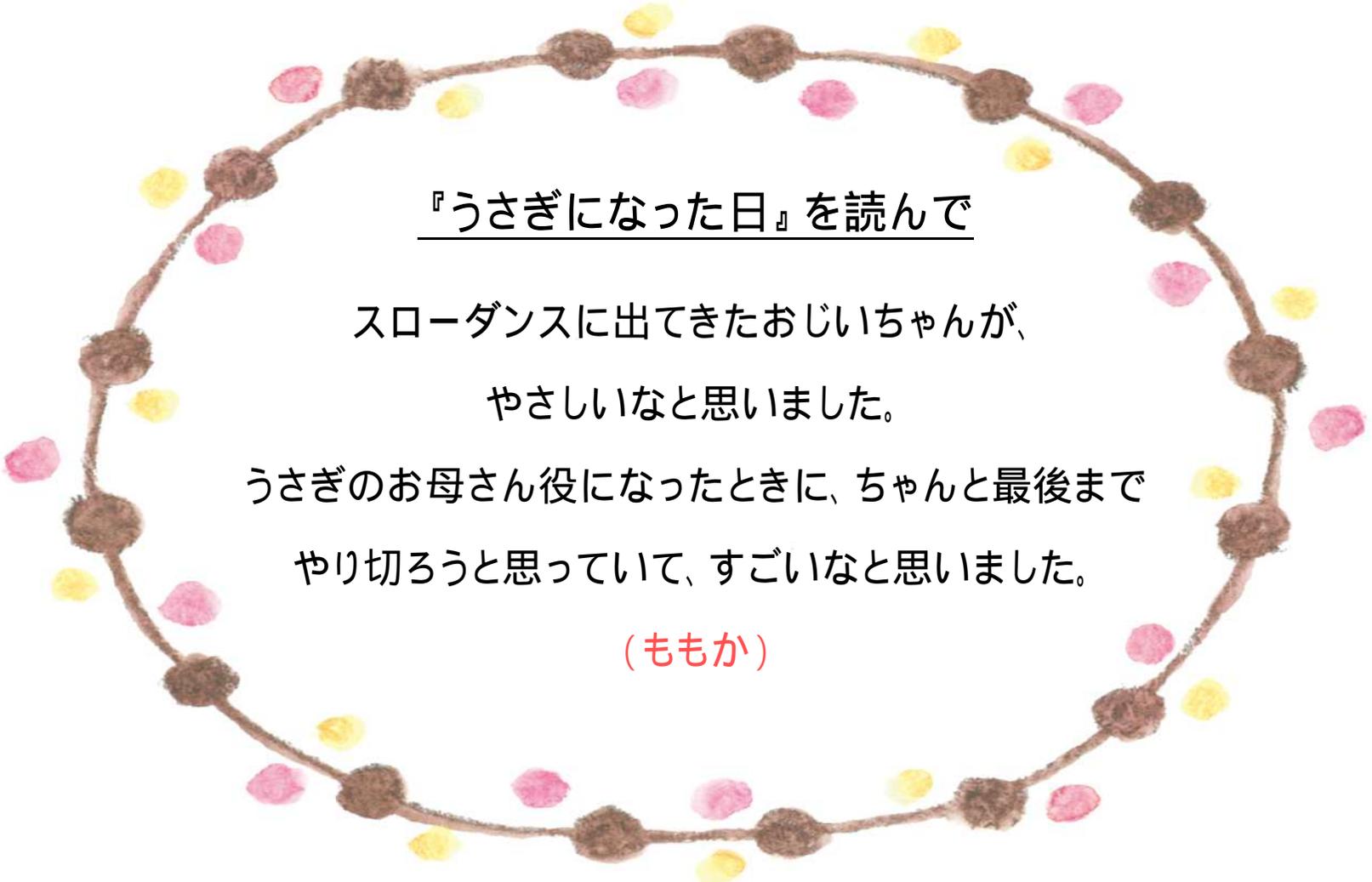
うさぎがにんじんを食べていることを、

「ノック」という表現にしているのが好きです。

また、物語のほうも、短いお話なのに深みがあるところも好きです。

私もうさぎが大好きです 🐰

(せな)

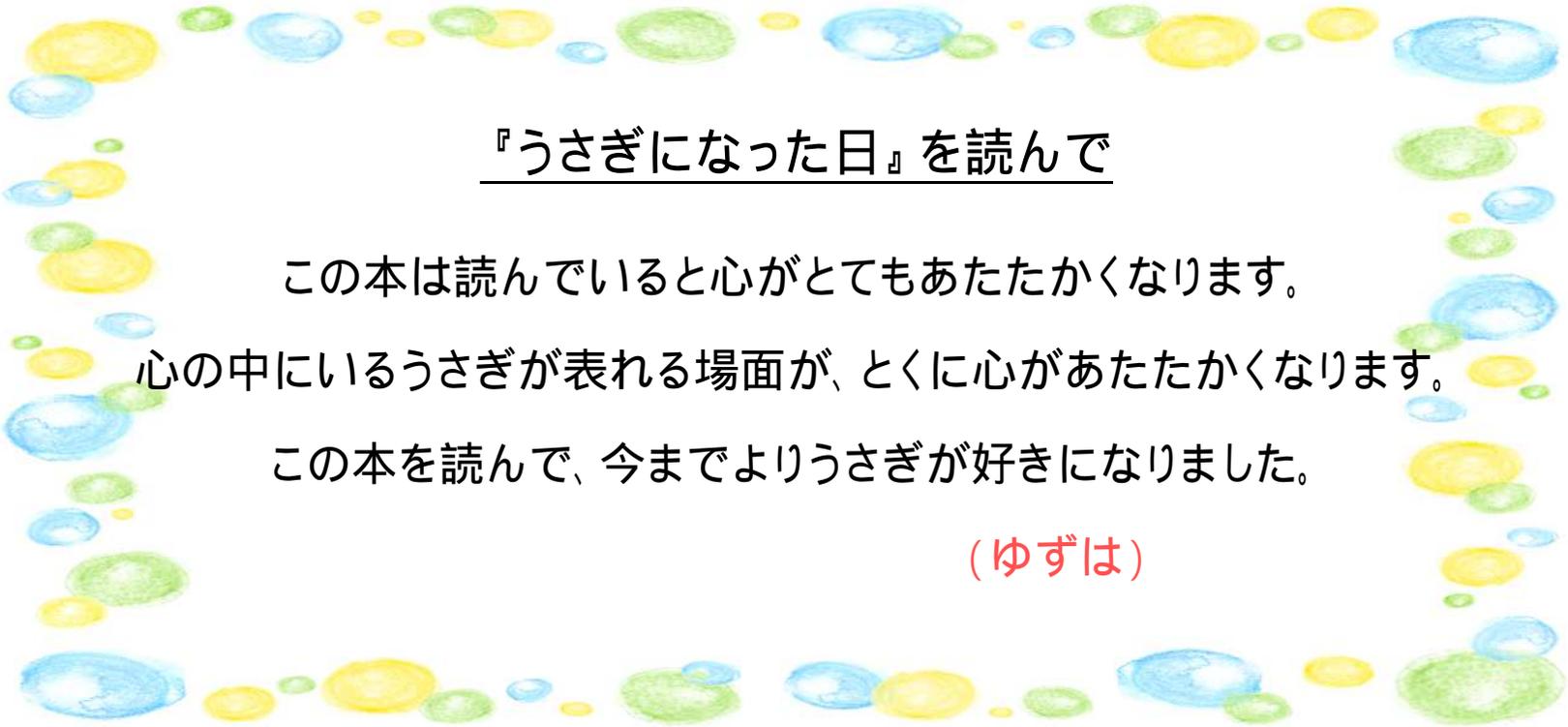


『うさぎになった日』を読んで

スローダンスに出てきたおじいちゃんが、
やさしいなと思いました。

うさぎのお母さん役になったときに、ちゃんと最後まで
やり切ろうと想着いて、すごいなと思いました。

(ももか)



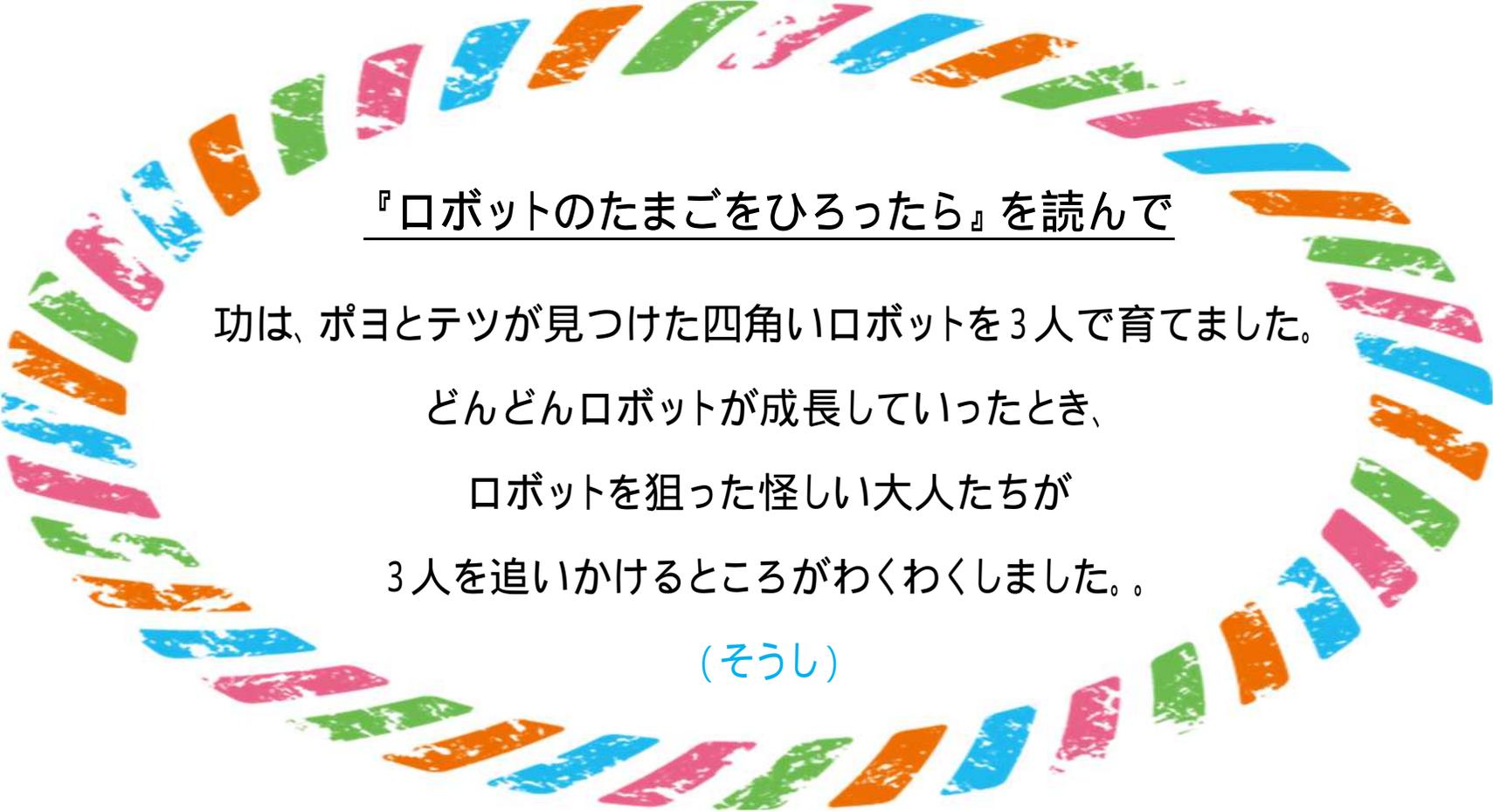
『うさぎになった日』を読んで

この本は読んでいると心がとてもあたたかくなります。

心の中にいるうさぎが表れる場面が、とくに心があたたかくなります。

この本を読んで、今までよりうさぎが好きになりました。

(ゆずは)



『ロボットのたまごをひろったら』を読んで

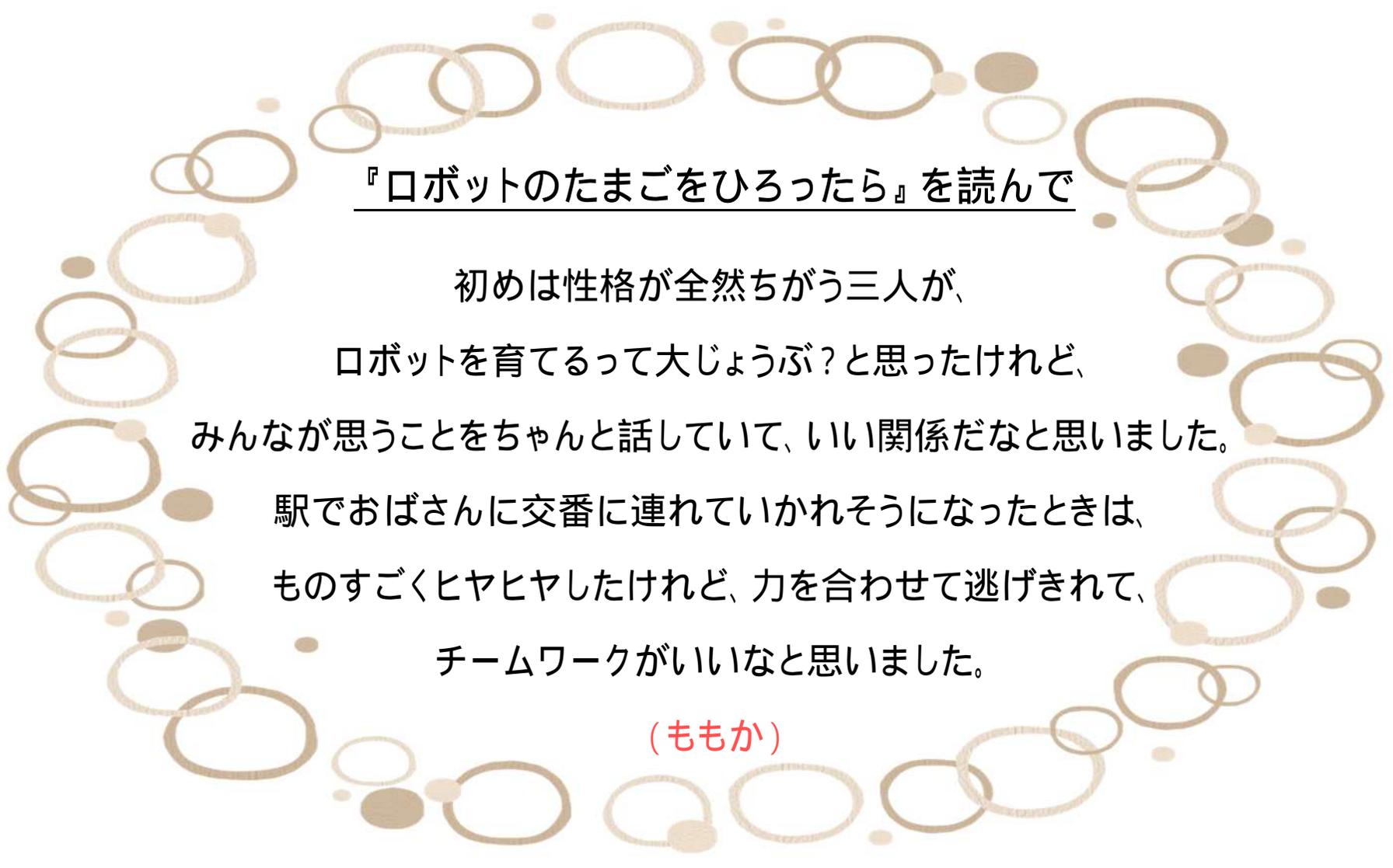
功は、ポヨとテツが見つけた四角いロボットを3人で育てました。

どんどんロボットが成長していったとき、

ロボットを狙った怪しい大人たちが

3人を追いかけるところがわくわくしました。。

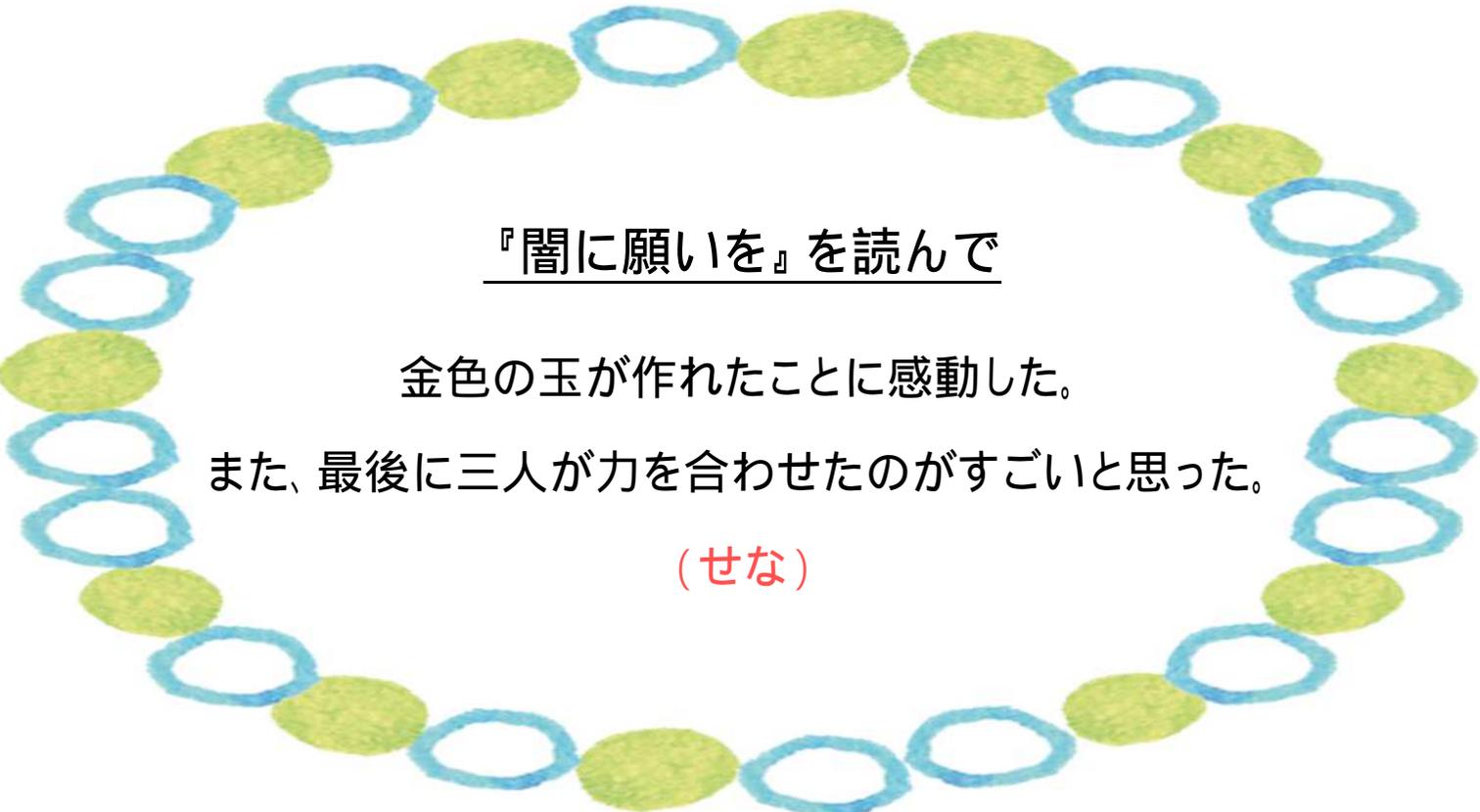
(そうし)



『ロボットのたまごをひろったら』を読んで

初めは性格が全然ちがう三人が、
ロボットを育てるって大じょうぶ?と思ったけれど、
みんなが思うことをちゃんと話していて、いい関係だなと思いました。
駅でおばさんに交番に連れていかれそうになったときは、
ものすごくヒヤヒヤしたけれど、力を合わせて逃げきれて、
チームワークがいいなと思いました。

(ももか)

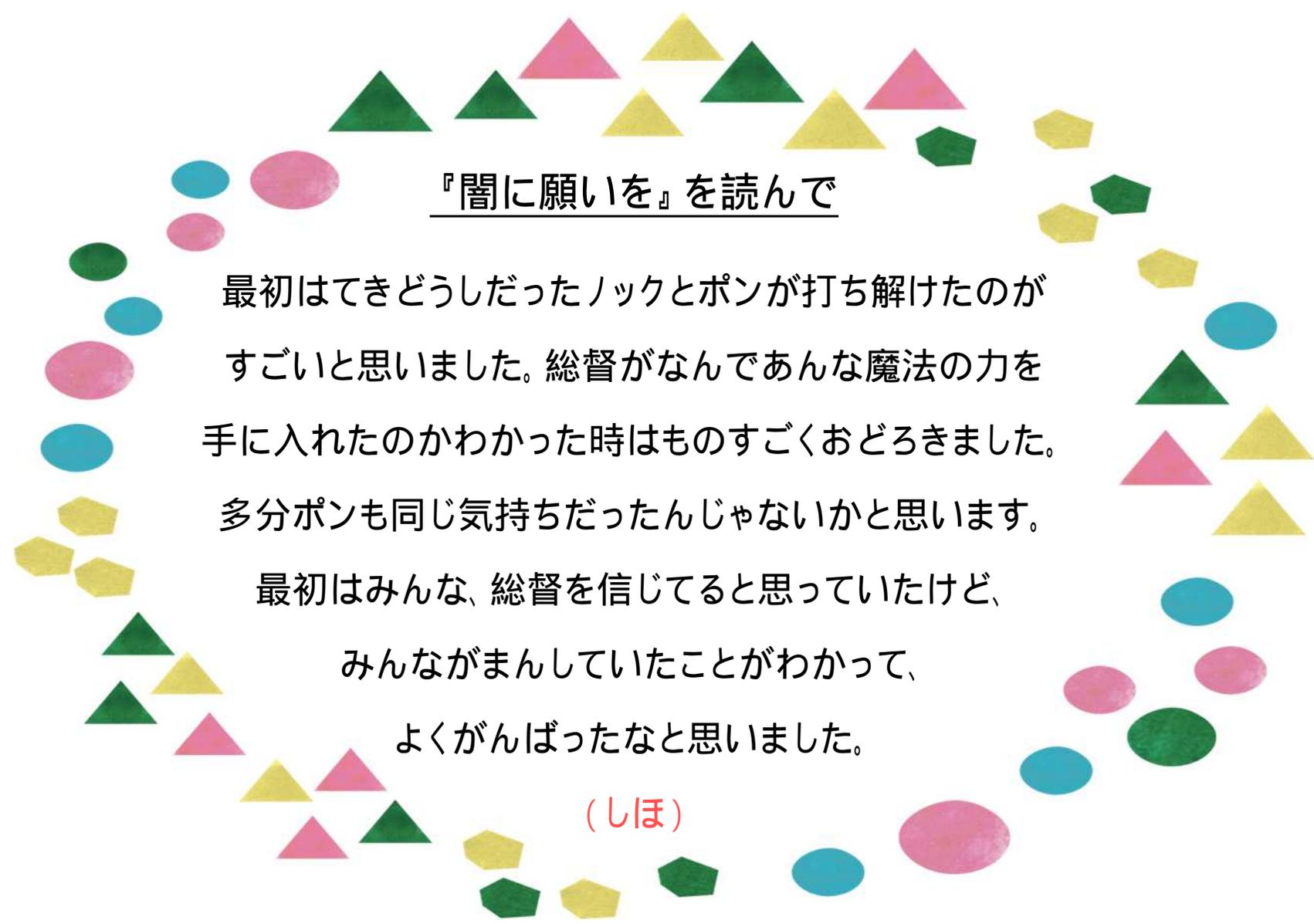


『闇に願いを』を読んで

金色の玉が作れたことに感動した。

また、最後に三人が力を合わせたのがすごいと思った。

(せな)

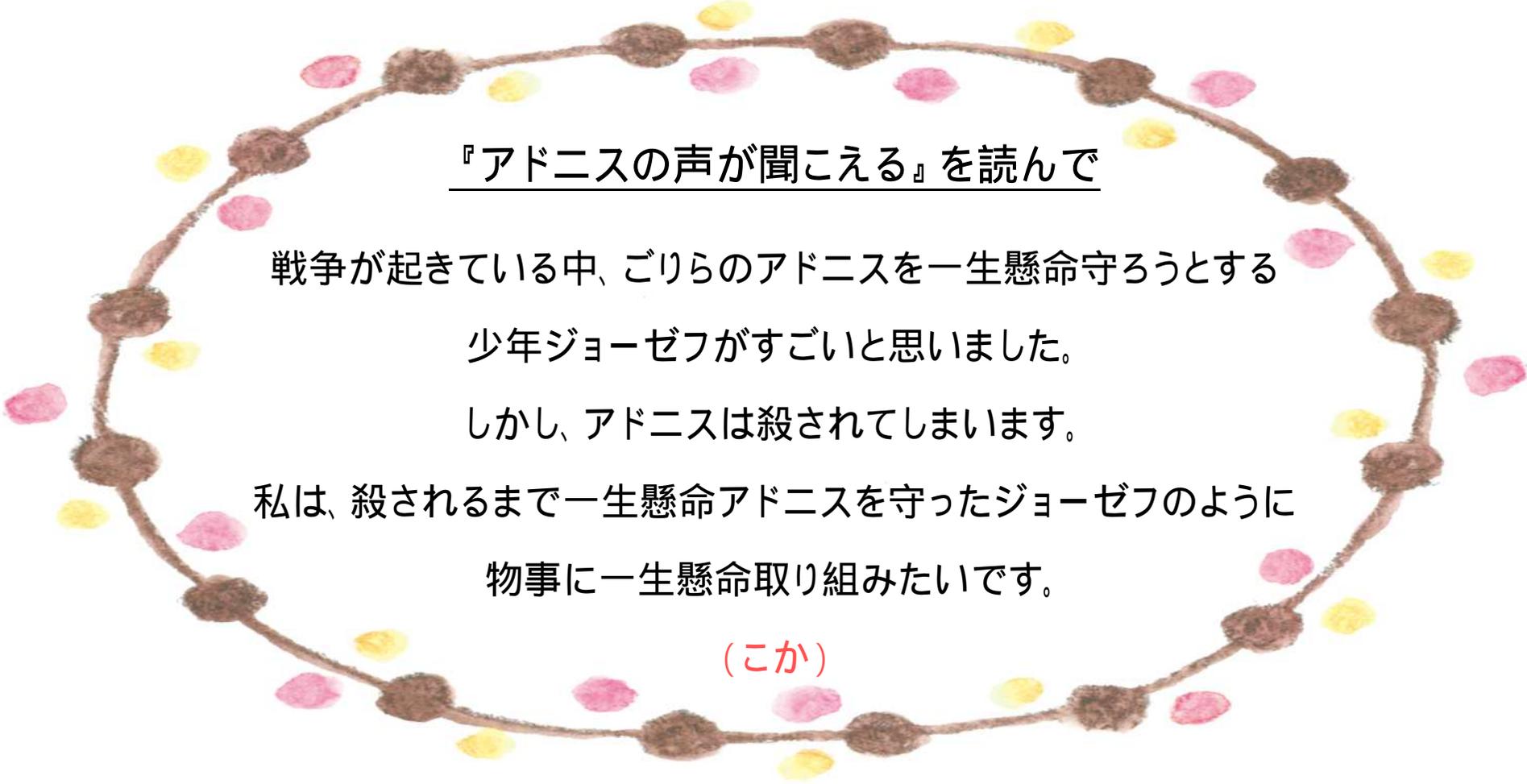


『闇に願いを』を読んで

最初はてきどうだったノックとポンが打ち解けたのが
すごいと思いました。総督がなんであんな魔法の力を
手に入れたのかわかった時はものすごくおどろきました。
多分ポンも同じ気持ちだったんじゃないかと思います。

最初はみんな、総督を信じてると思っていたけど、
みんながまんしていたことがわかって、
よくがんばったなと思いました。

(しほ)



『アドニスの声が聞こえる』を読んで

戦争が起きている中、ごりらのアドニスを一生涯懸命守ろうとする

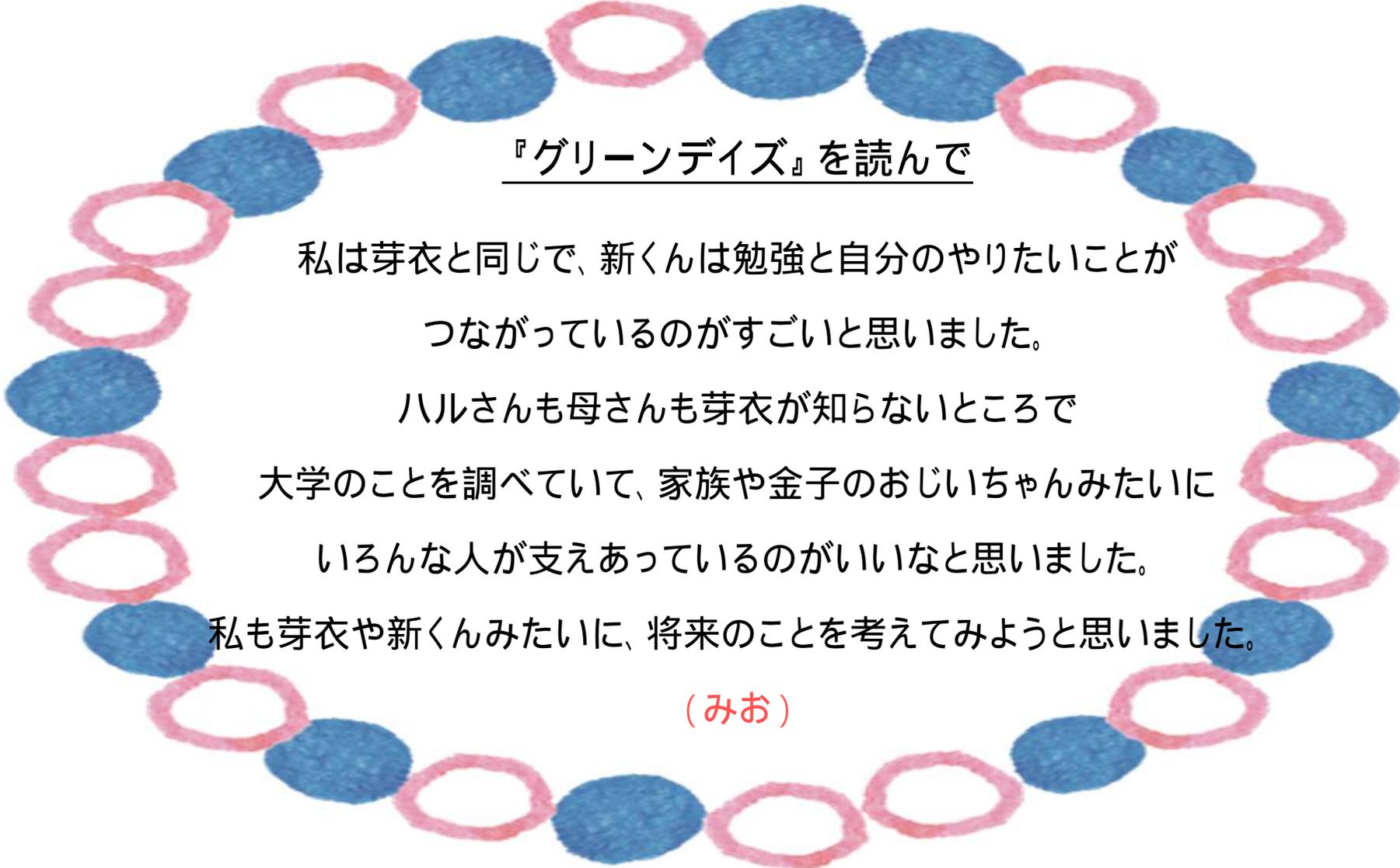
少年ジョーゼフがすごいと思いました。

しかし、アドニスは殺されてしまいます。

私は、殺されるまで一生涯懸命アドニスを守ったジョーゼフのように

物事に一生涯懸命取り組みたいです。

(こか)



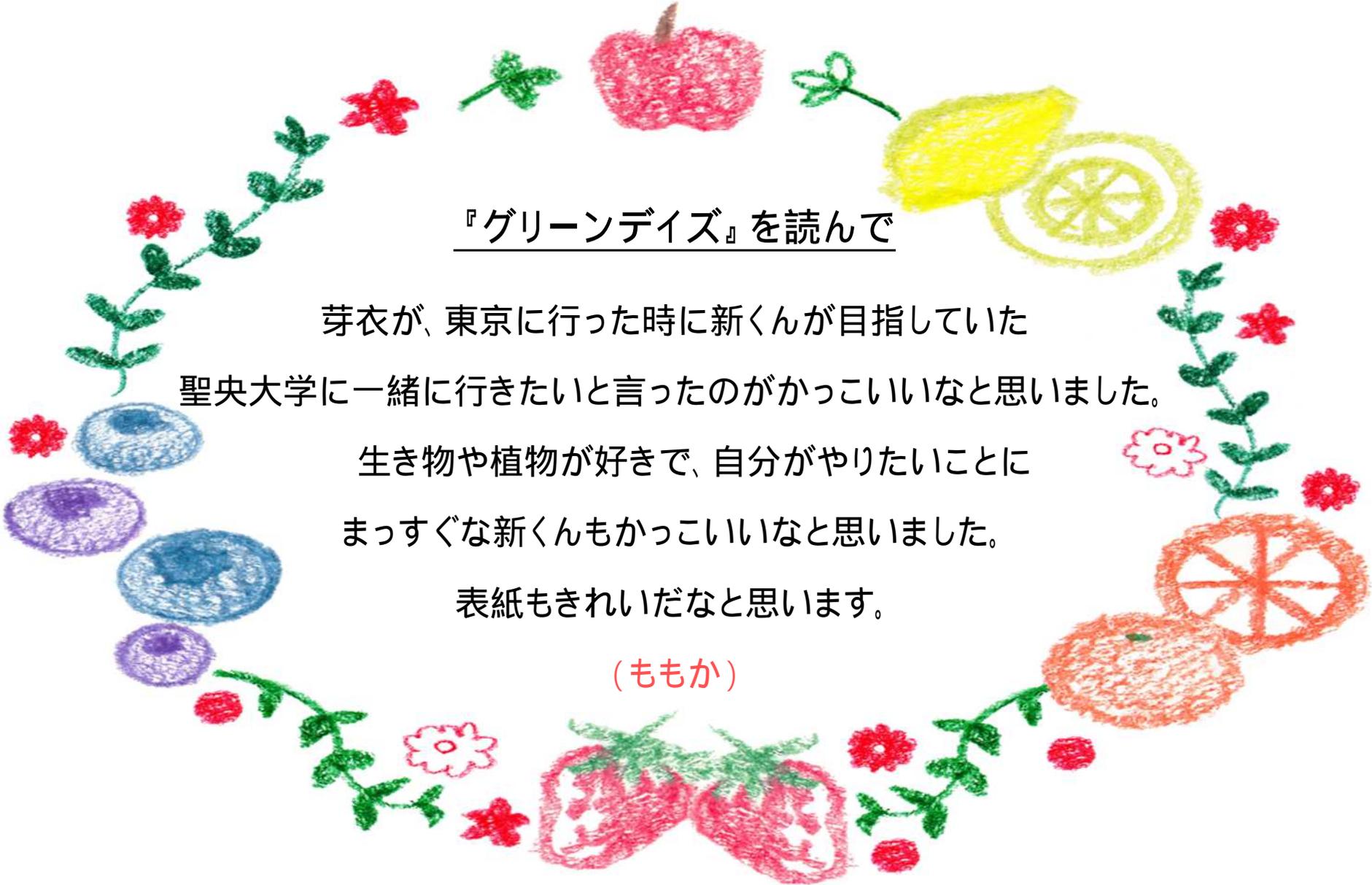
『グリーンデイズ』を読んで

私は芽衣と同じで、新しくは勉強と自分のやりたいことが
つながっているのがすごいと思いました。

ハルさんも母さんも芽衣が知らないところで
大学のことを調べていて、家族や金子のおじいちゃんみたいに
いろんな人が支えあっているのがいいなと思いました。

私も芽衣や新しくみたいに、将来のことを考えてみようと思いました。

(みお)



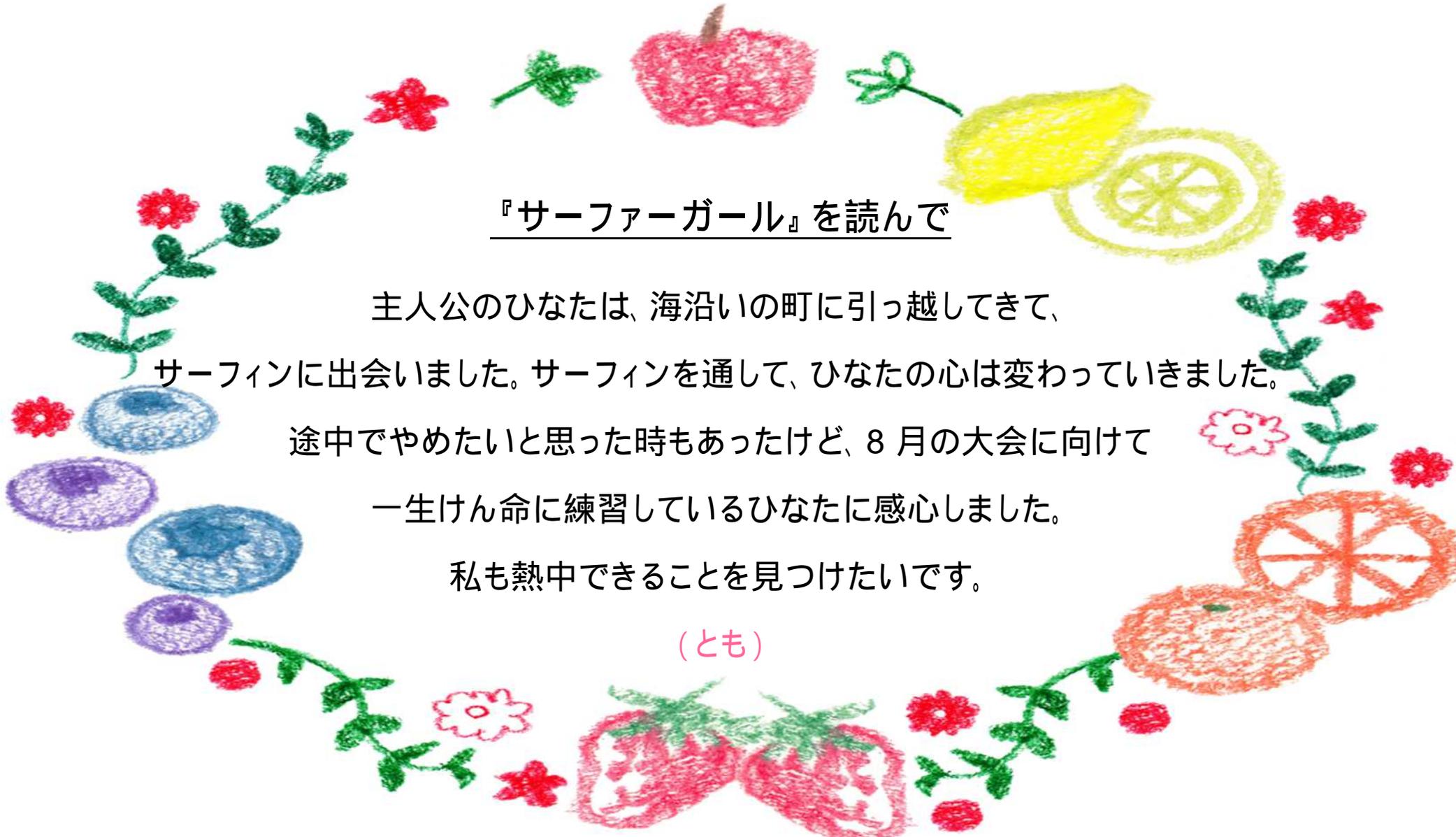
『グリーンデイズ』を読んで

芽衣が、東京に行った時に新くんが目指していた
聖央大学に一緒に行きたいと言ったのがかっこいいなと思いました。

生き物や植物が好きで、自分がやりたいことに
まっすぐな新くんもかっこいいなと思いました。

表紙もきれいだなと思います。

(ももか)



『サーファーガール』を読んで

主人公のひなたは、海沿いの町に引っ越してきて、

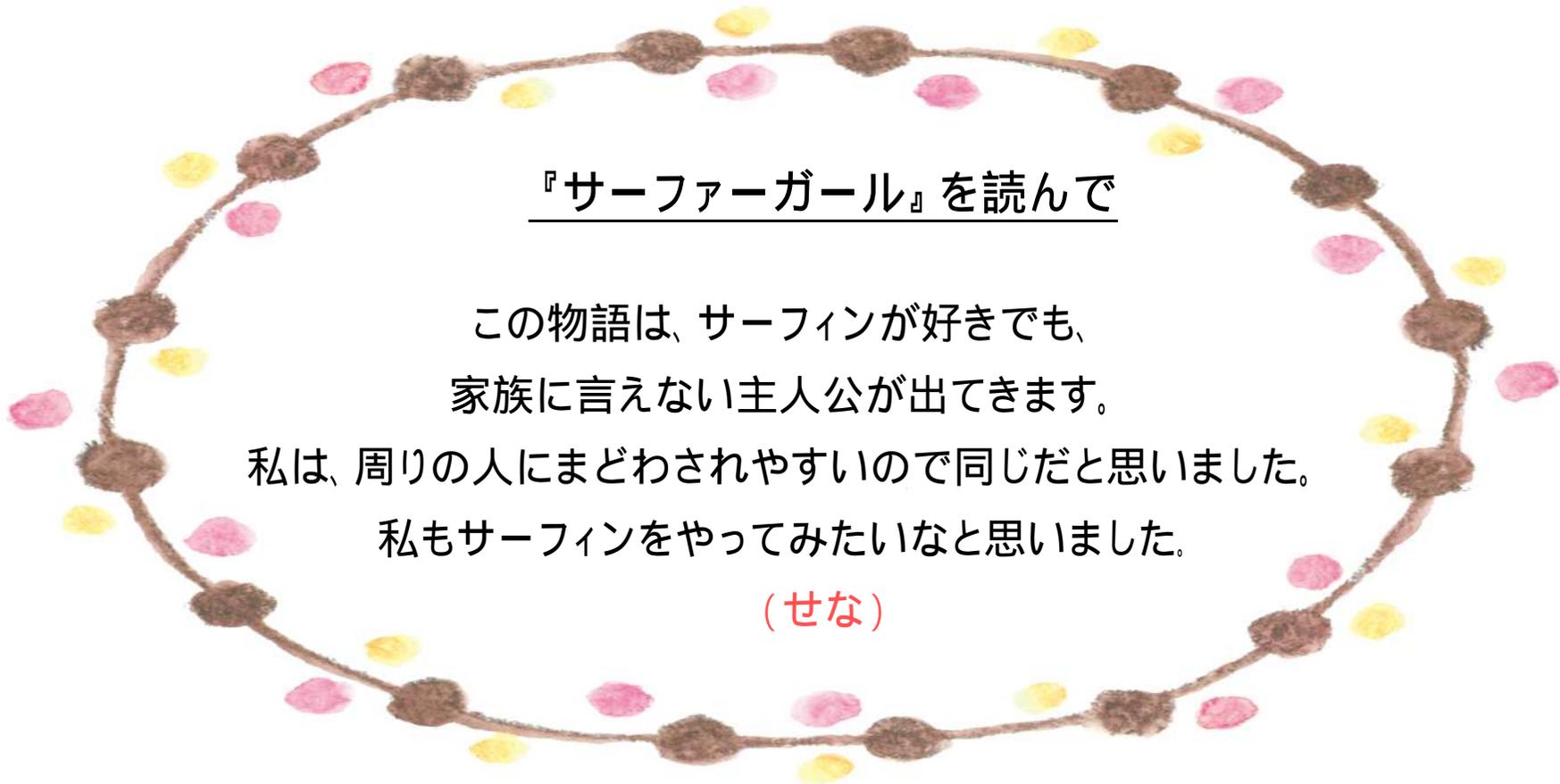
サーフィンに出会いました。サーフィンを通して、ひなたの心は変わっていききました。

途中でやめたいと思った時もあったけど、8月の大会に向けて

一生けん命に練習しているひなたに感心しました。

私も熱中できることを見つけたいです。

(とも)

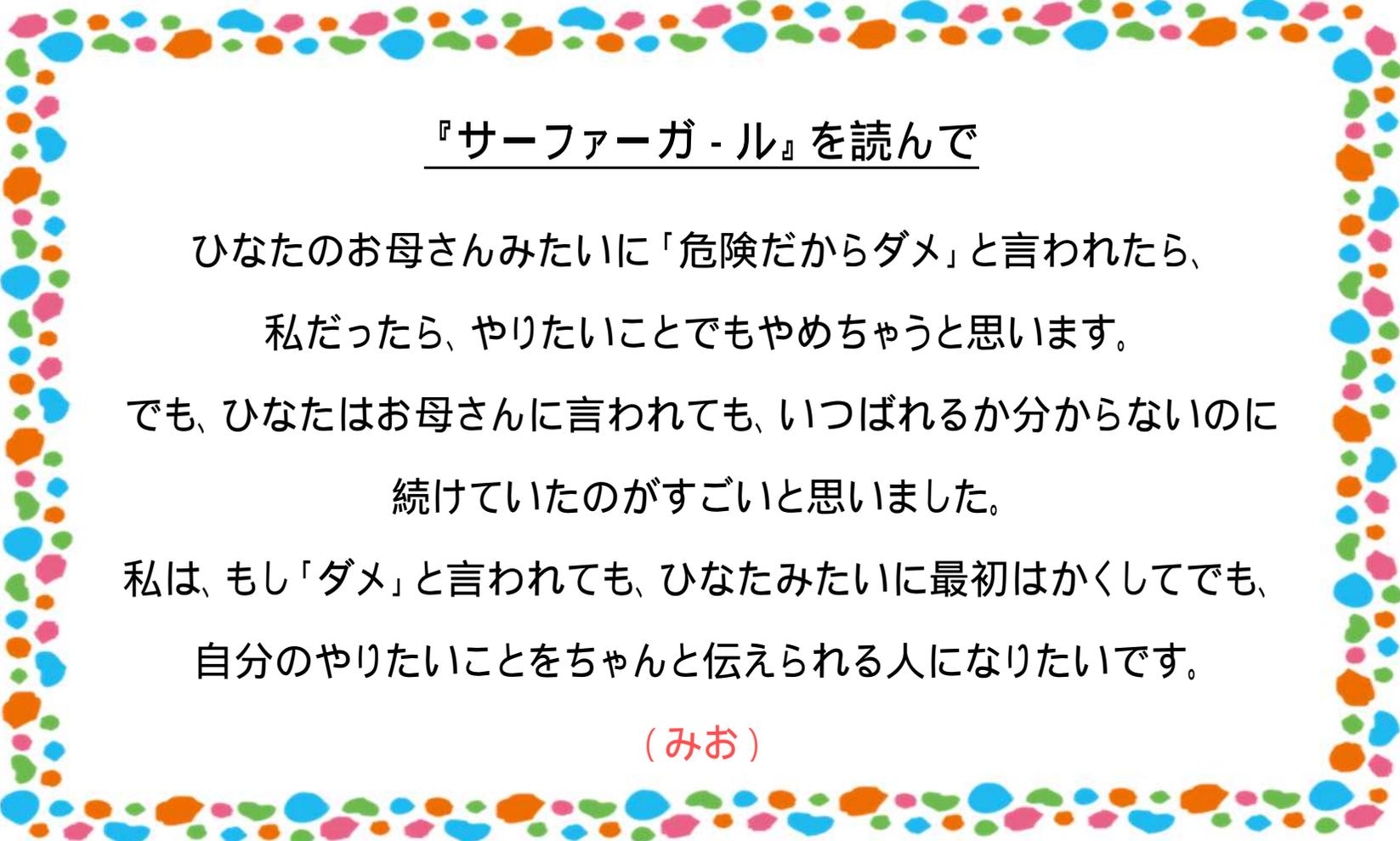


『サーファーガール』を読んで

この物語は、サーフィンが好きでも、
家族に言えない主人公が出てきます。

私は、周りの人にまどわされやすいので同じだと思いました。
私もサーフィンをやってみたいなと思いました。

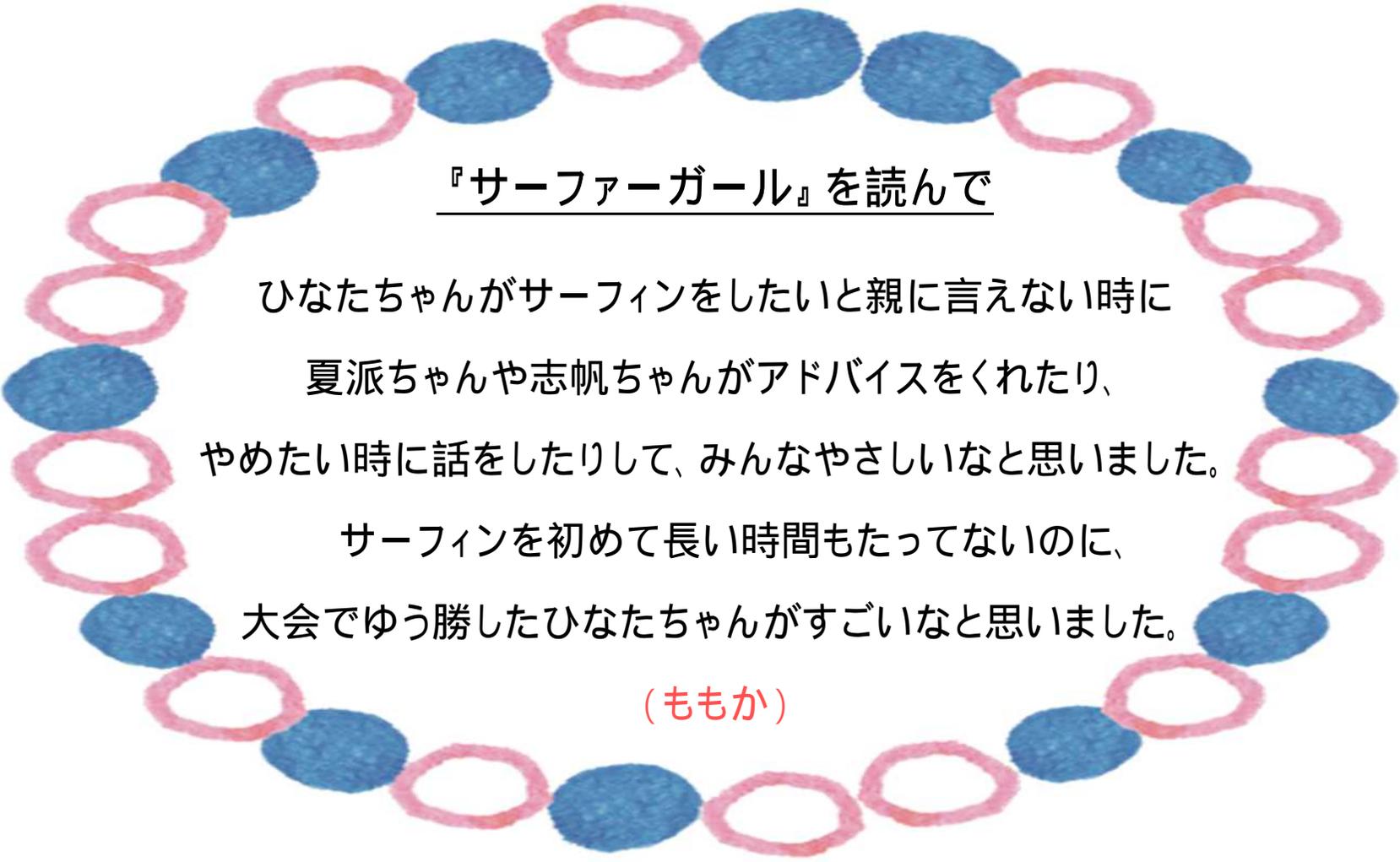
(せな)



『サーファーガール』を読んで

ひなたのお母さんみたいに「危険だからダメ」と言われたら、
私だったら、やりたいことでもやめちゃうと思います。
でも、ひなたはお母さんに言われても、いつばれるか分からないのに
続けていたのがすごいと思いました。
私は、もし「ダメ」と言われても、ひなたみたいに最初はかくしてでも、
自分のやりたいことをちゃんと伝えられる人になりたいです。

(みお)



『サーファーガール』を読んで

ひなたちゃんがサーフィンをしたいと親に言えない時に
夏派ちゃんや志帆ちゃんがアドバイスをくれたり、
やめたい時に話をしたりして、みんなやさしいなと思いました。

サーフィンを初めて長い時間もたっていないのに、
大会でゆう勝したひなたちゃんがすごいなと思いました。

(ももか)

『サーファーガール』を読んで

私はサーフィンをずっときけんなスポーツで怖いと思っていました。

でもこの本を読んで、少し気持ちが変わってかっこいいなと思いました。

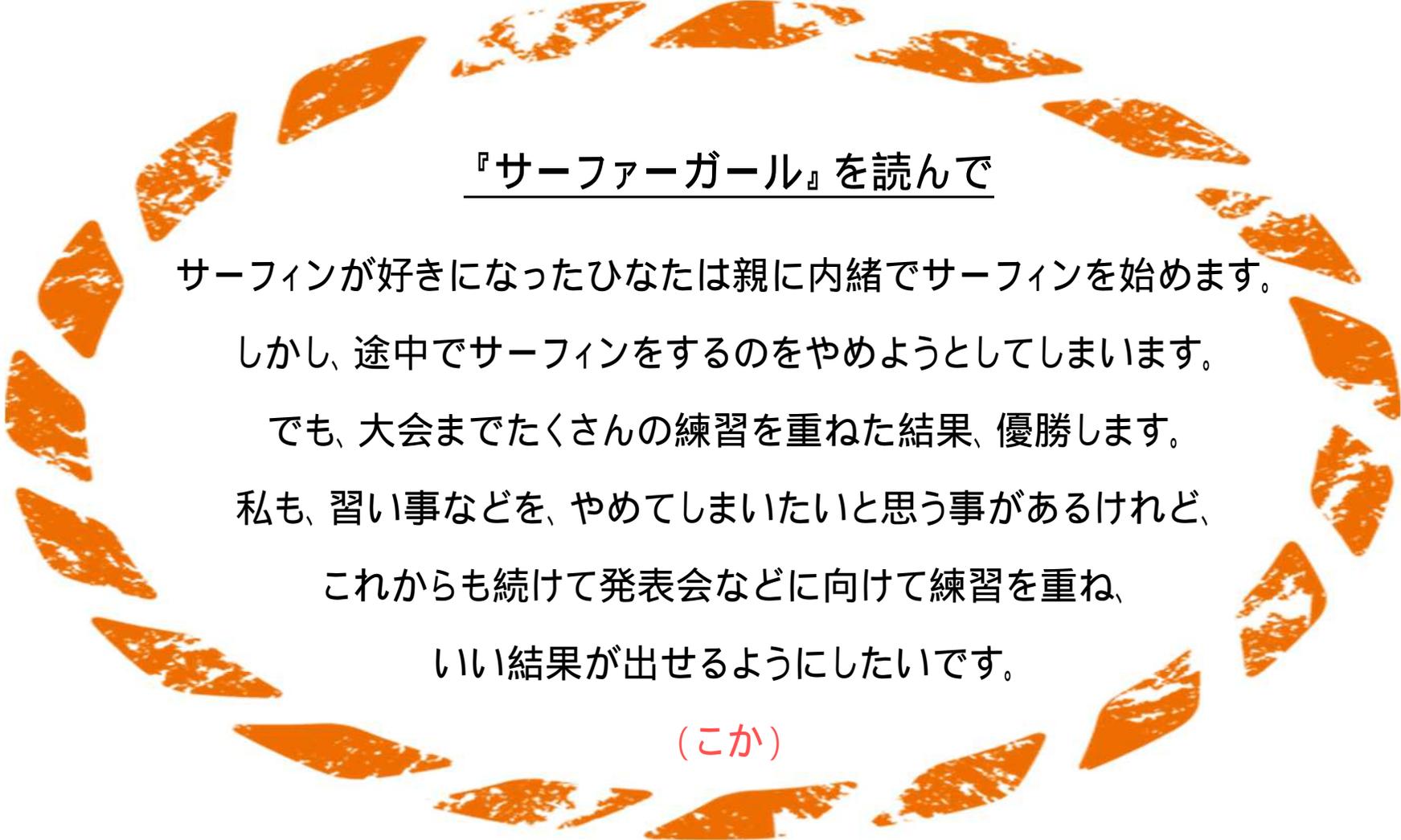
この本の主人公がおぼれそうな時や、お母さんにばれないかはらはらするシーンは

ドキドキして大丈夫かなと怖くなりました。でも主人公が毎日のように練習して

成長していくところや、東沙さんや志帆ちゃんたちとサーフィンを通して

仲良くなっていくところから、サーフィンのよさが伝わってきました。

(ゆずは)



『サーファーガール』を読んで

サーフィンが好きになったひなたは親に内緒でサーフィンを始めます。

しかし、途中でサーフィンをするのをやめようとしてしまいます。

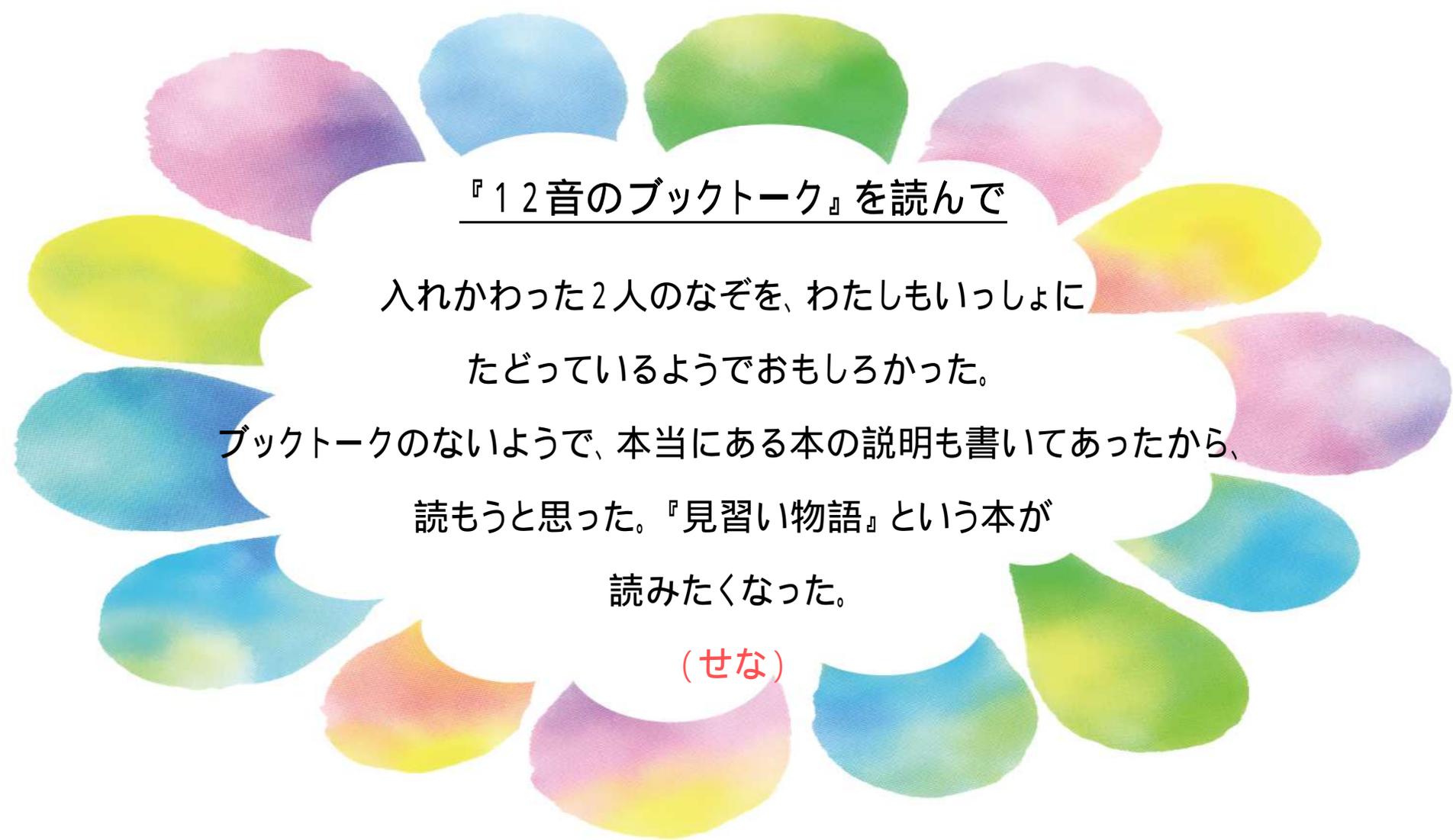
でも、大会までたくさんの練習を重ねた結果、優勝します。

私も、習い事などを、やめてしまいたいと思う事があるけれど、

これからも続けて発表会などに向けて練習を重ね、

いい結果が出せるようにしたいです。

(こか)

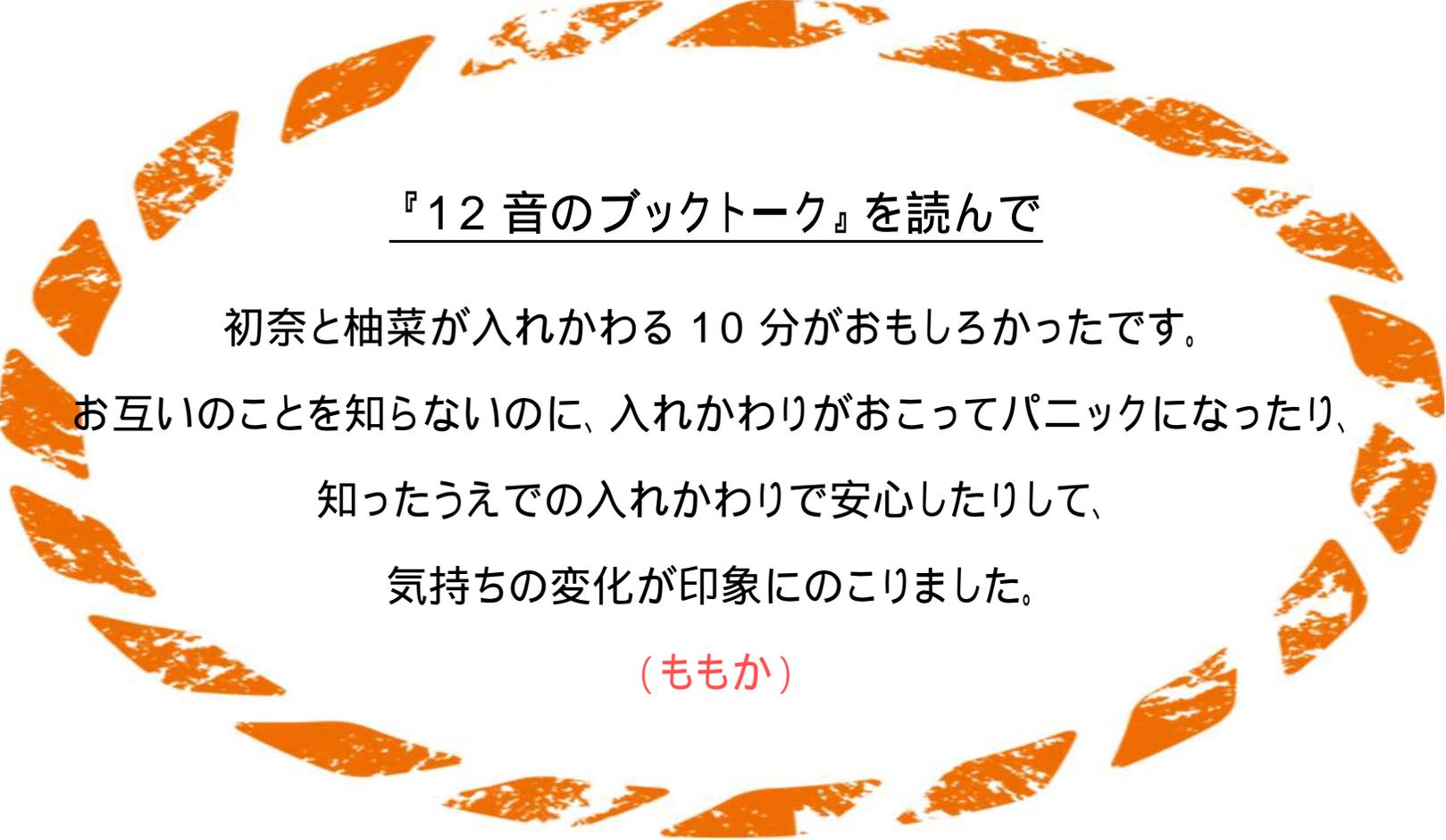


『12音のブックトーク』を読んで

入れかわった2人のなぞを、わたしもいっしょに
たどっているようでおもしろかった。

ブックトークのないようで、本当にある本の説明も書いてあったから、
読もうと思った。『見習い物語』という本が
読みたくなった。

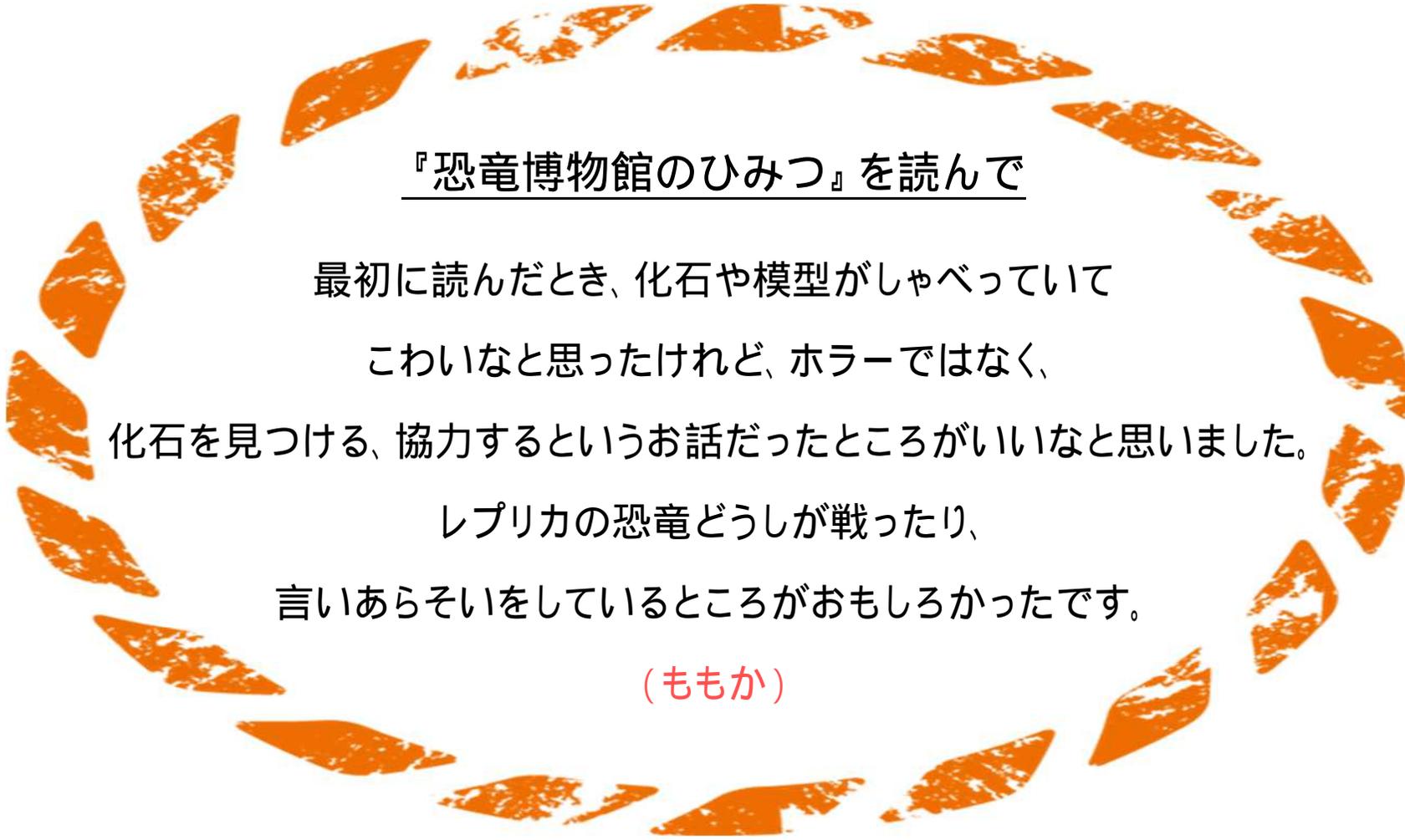
(せな)



『12音のブックトーク』を読んで

初奈と柚菜が入れかわる10分がおもしろかったです。
お互いのことを知らないのに、入れかわりがおこってパニックになったり、
知ったうえでの入れかわりで安心したりして、
気持ちの変化が印象にのこりました。

(ももか)



『恐竜博物館のひみつ』を読んで

最初に読んだとき、化石や模型がしゃべっていて

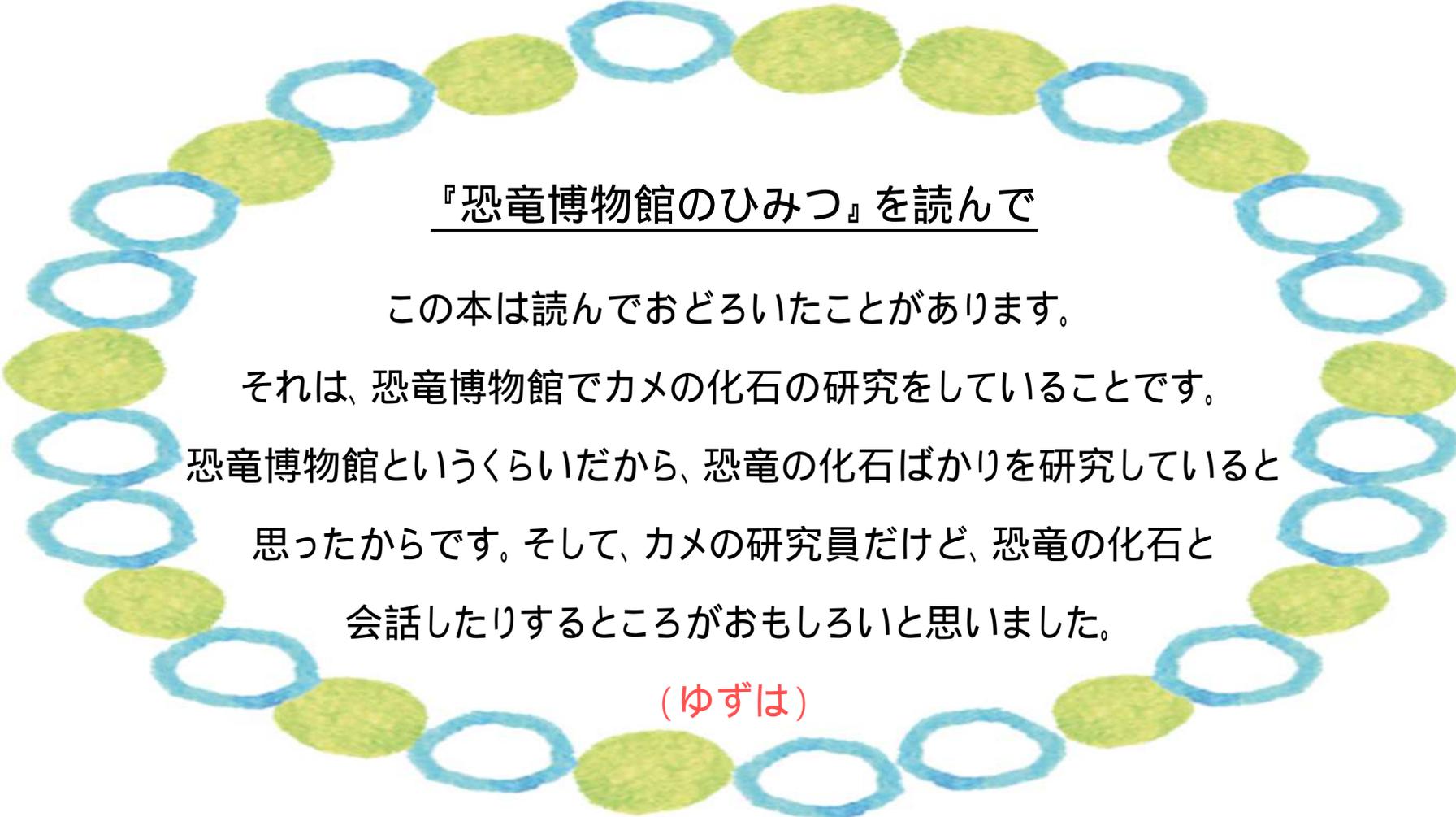
こわいなと思ったけれど、ホラーではなく、

化石を見つける、協力するというお話だったところがいいなと思いました。

レプリカの恐竜どうしが戦ったり、

言いあそいをしているところがおもしろかったです。

(ももか)



『恐竜博物館のひみつ』を読んで

この本は読んでおどろいたことがあります。

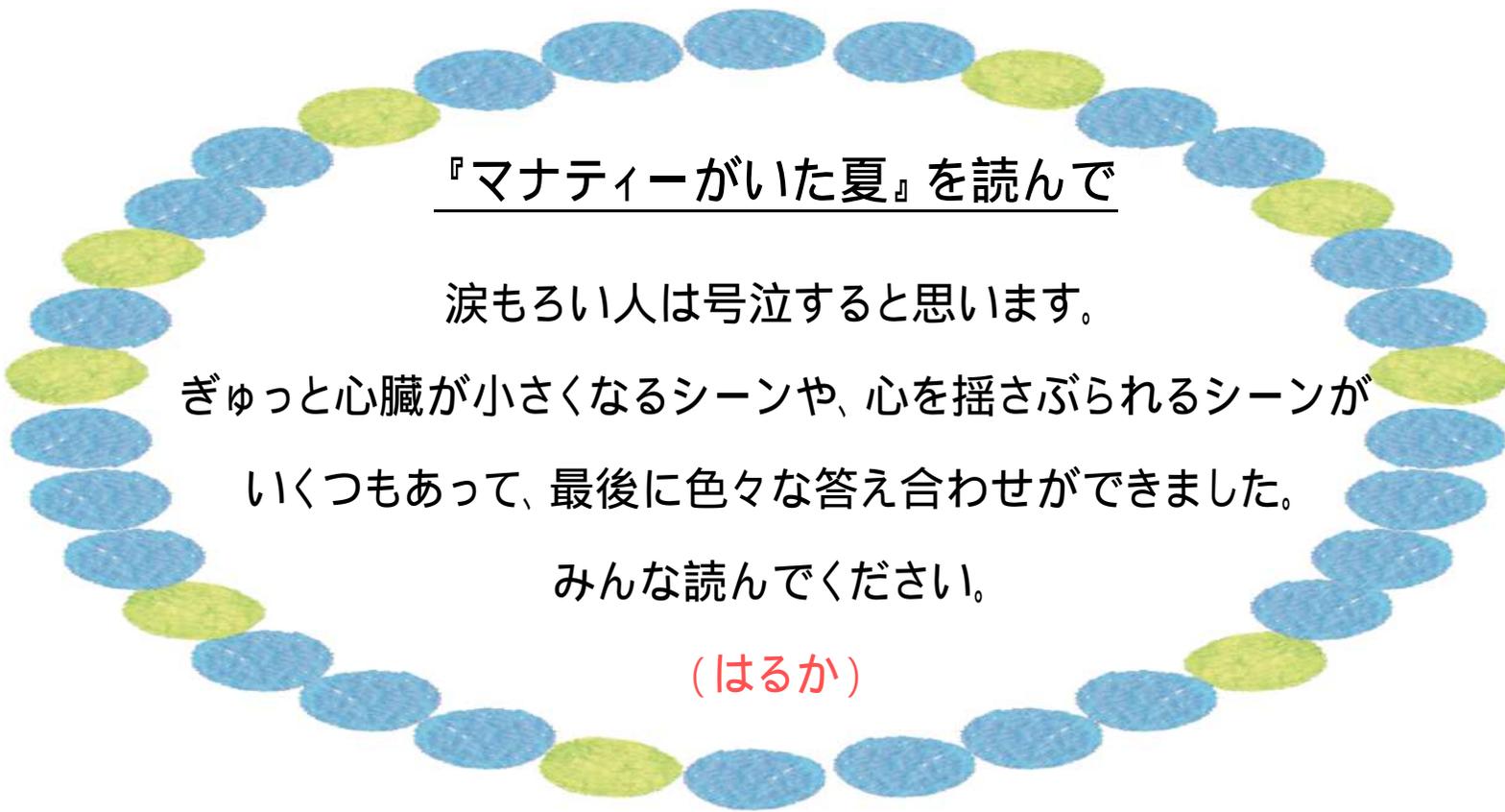
それは、恐竜博物館でカメの化石の研究をしていることです。

恐竜博物館というくらいだから、恐竜の化石ばかりを研究していると

思ったからです。そして、カメの研究者だけど、恐竜の化石と

会話したりするところがおもしろいと思いました。

(ゆずは)



『マナティーがいた夏』を読んで

涙もろい人は号泣すると思います。

ぎゅっと心臓が小さくなるシーンや、心を揺さぶられるシーンが
いくつもあって、最後に色々な答え合わせができました。

みんな読んでください。

(はるか)

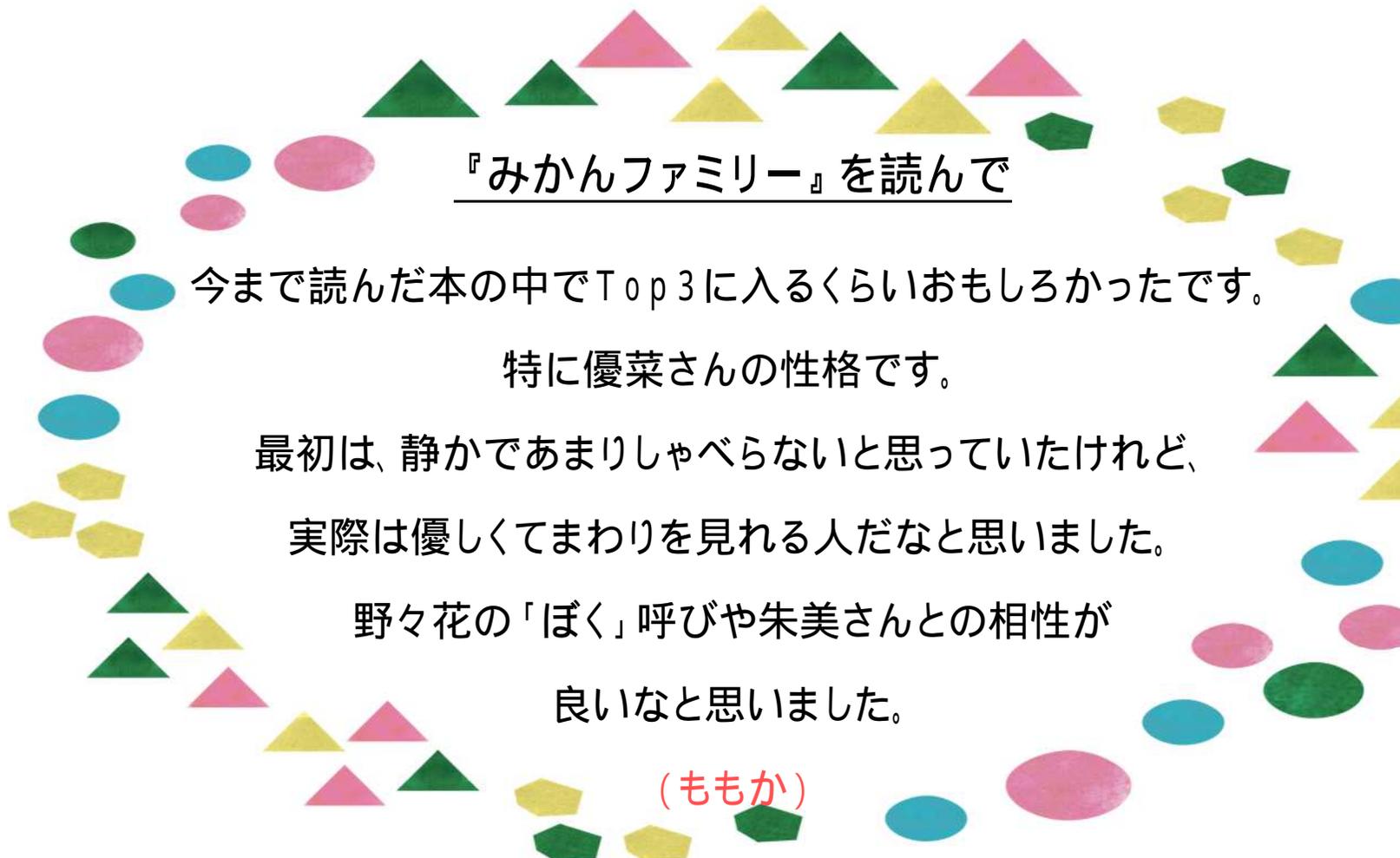
『王様のキャリー』を読んで

「王様のキャリー」の勝生はすごいです。

僕もこの話みたいに通信するゲームはするし動画も見ますが、もし声が似ていたとしても、知らない子、しかも障がいのある人に突然話しかけたりはできないです。

はじめは上手くいかなかったけど、ケンカしながらでも仲直りして友達になるところは、本当にかっこいいと思いました。

(こうた)



『みかんファミリー』を読んで

今まで読んだ本の中でTop3に入るくらいおもしろかったです。

特に優菜さんの性格です。

最初は、静かであまりしゃべらないと思っていたけれど、

実際は優しくてまわりを見れる人だなと思いました。

野々花の「ぼく」呼びや朱美さんとの相性が

良いなと思いました。

(ももか)

『みかんファミリー』を読んで

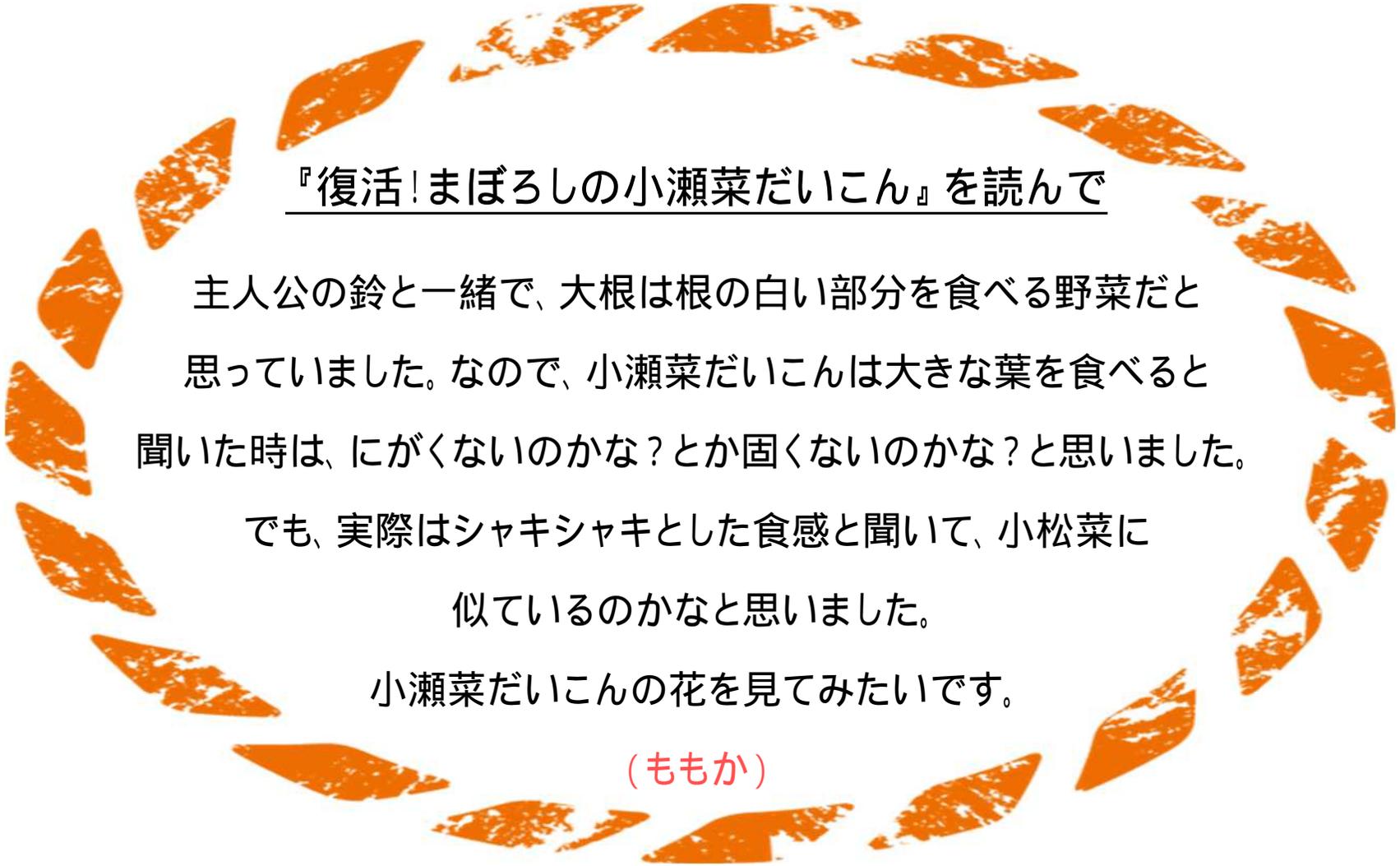
はじめのほうを読んだ時、「なぜ一緒に住むことになったのだろう」と
思っていました。けれど、最後まで読んで、「母の病気のことが
あったからなのか…」と複雑な気持ちになりました。

誰にでもありえることなので、とても他人ごととは思えませんでした。

そして、「野々花」と「美琴」の友情が、お母さんの病気をよくし、
結果を大きく変えたんだなと思っています。

「野々花」と「美琴」の友情が永く続いてほしいなと思いました。

(ゆきえ)

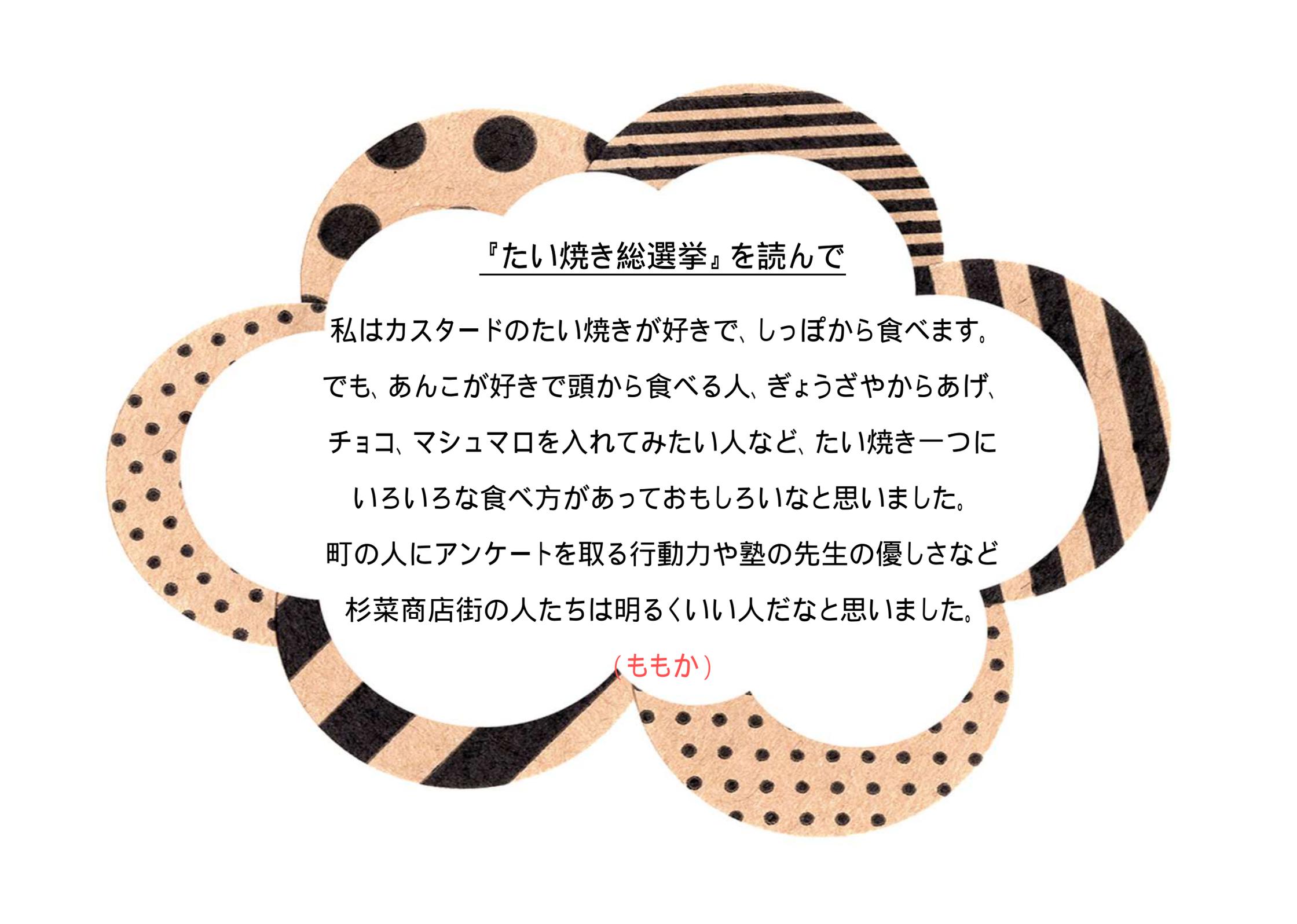


『復活!まぼろしの小瀬菜だいこん』を読んで

主人公の鈴と一緒に、大根は根の白い部分を食べる野菜だと思っていた。なので、小瀬菜だいこんは大きな葉を食べると聞いた時は、にがくないのかな?とか固くないのかな?と思いました。でも、実際はシャキシャキとした食感と聞いて、小松菜に似ているのかなと思いました。

小瀬菜だいこんの花を見たいです。

(ももか)



『たい焼き総選挙』を読んで

私はカスタードのたい焼きが好きで、しっぽから食べます。
でも、あんこが好きで頭から食べる人、ぎょうざやからあげ、
チョコ、マシュマロを入れてみたい人など、たい焼き一つに
いろいろな食べ方があっておもしろいなと思いました。
町の人にアンケートを取る行動力や塾の先生の優しさなど
杉菜商店街の人たちは明るくいい人だなと思いました。

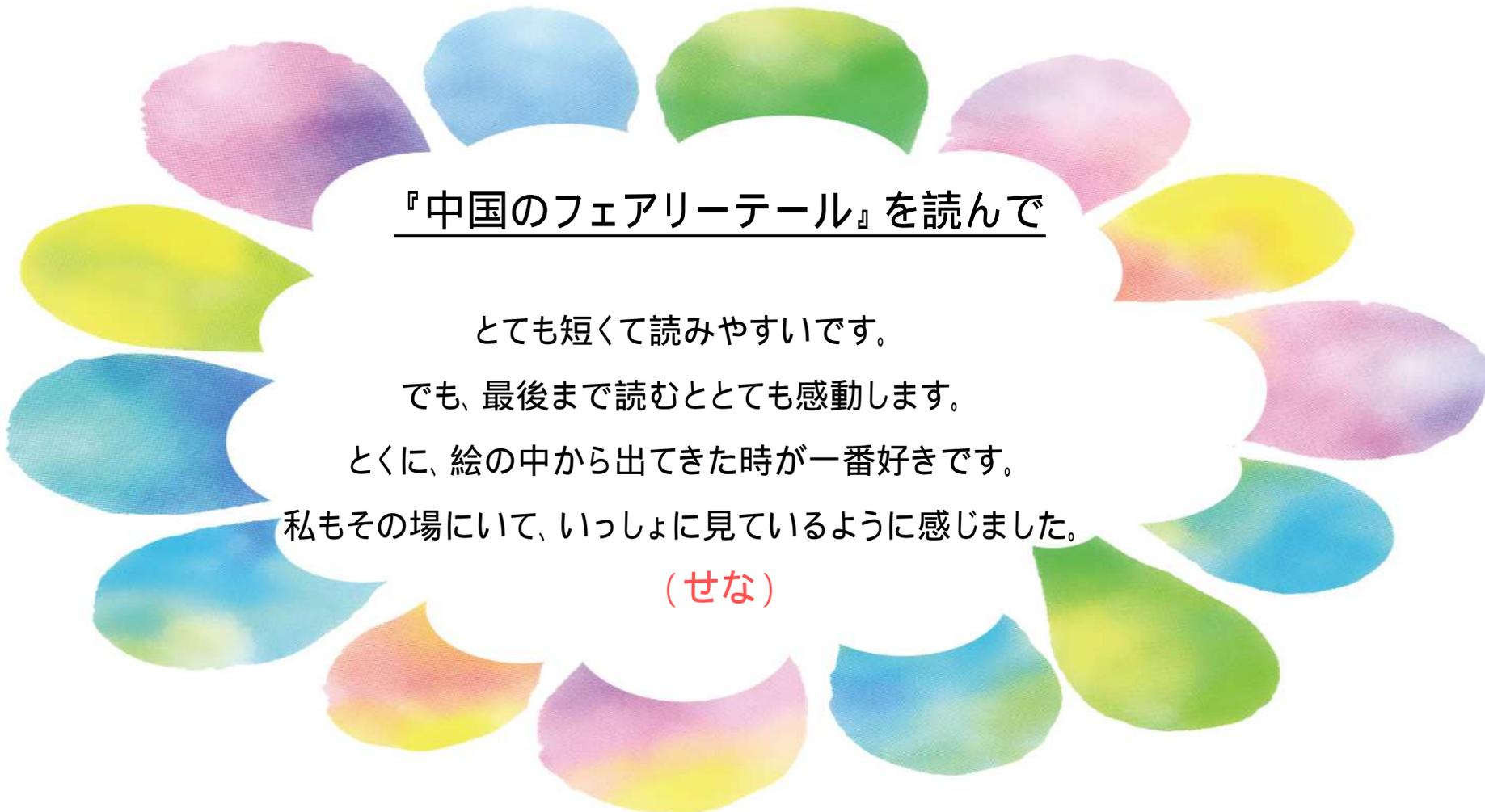
(ももか)

『たい焼き総選挙』を読んで

たい焼き屋さんを応援しようと、初めは自分たちの好きな味を作っていたけれど、なかなか売れなかったので、町の人に食べたい味を聞き取り、最も多かった味を売るという形式にしました。

私も、このように人に意見を聞いて、初めてのことで挑戦していきたいです。

(こか)



『中国のフェアリーテール』を読んで

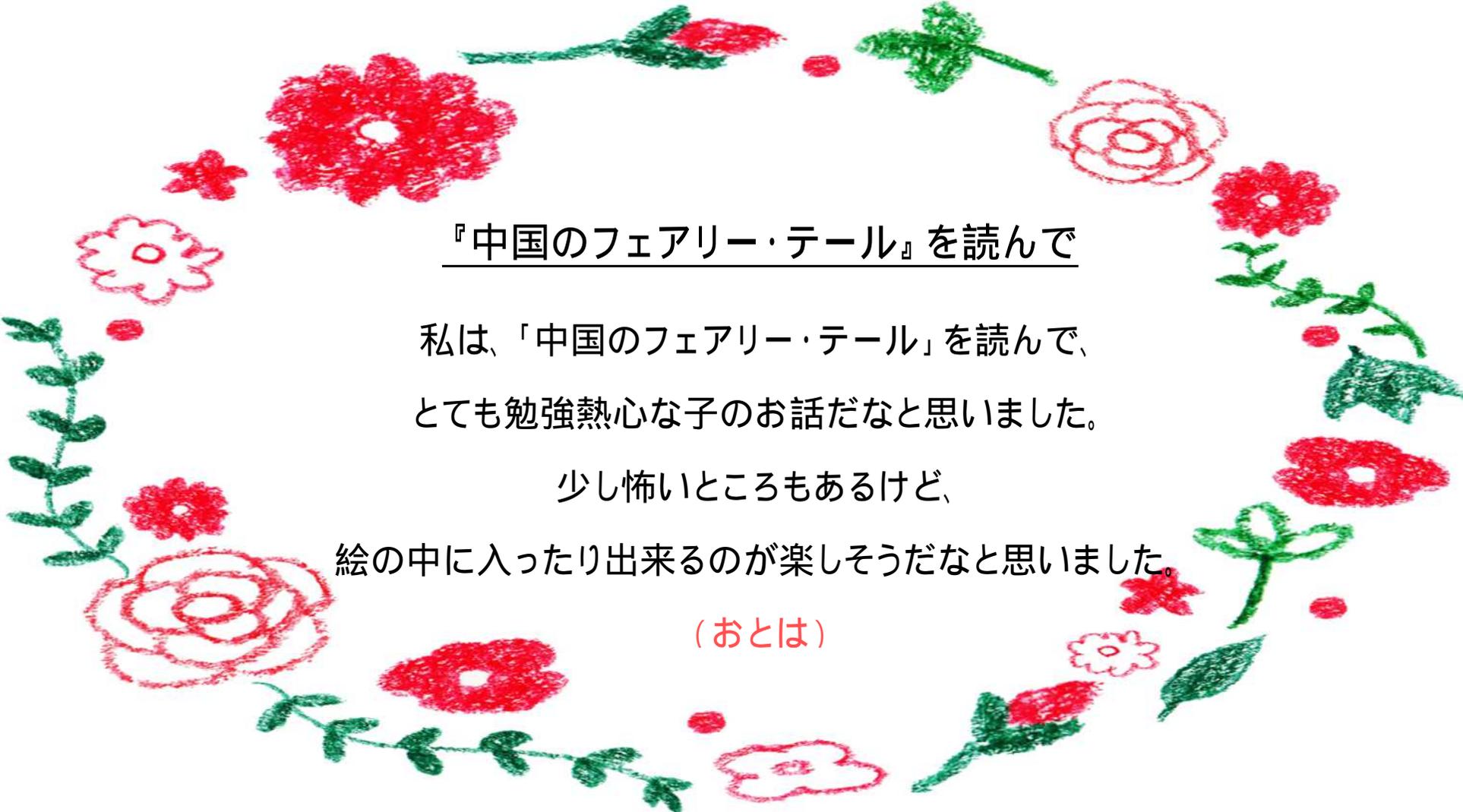
とても短くて読みやすいです。

でも、最後まで読むととても感動します。

とくに、絵の中から出てきた時が一番好きです。

私もその場において、いっしょに見ているように感じました。

(せな)

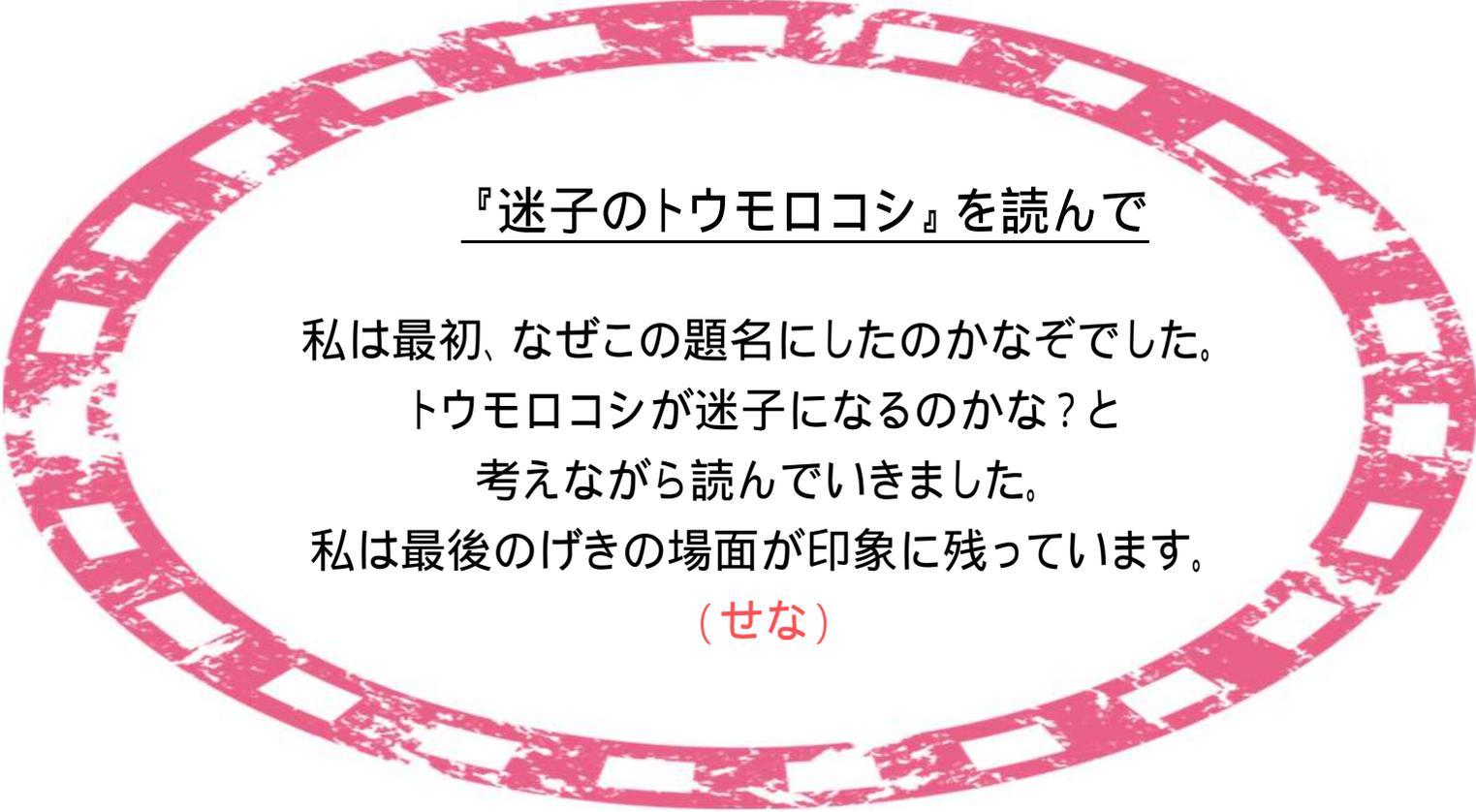


『中国のフェアリー・テール』を読んで

私は、「中国のフェアリー・テール」を読んで、
とても勉強熱心な子のお話だなと思いました。

少し怖いところもあるけど、
絵の中に入ったり出来るのが楽しそうだなと思いました。

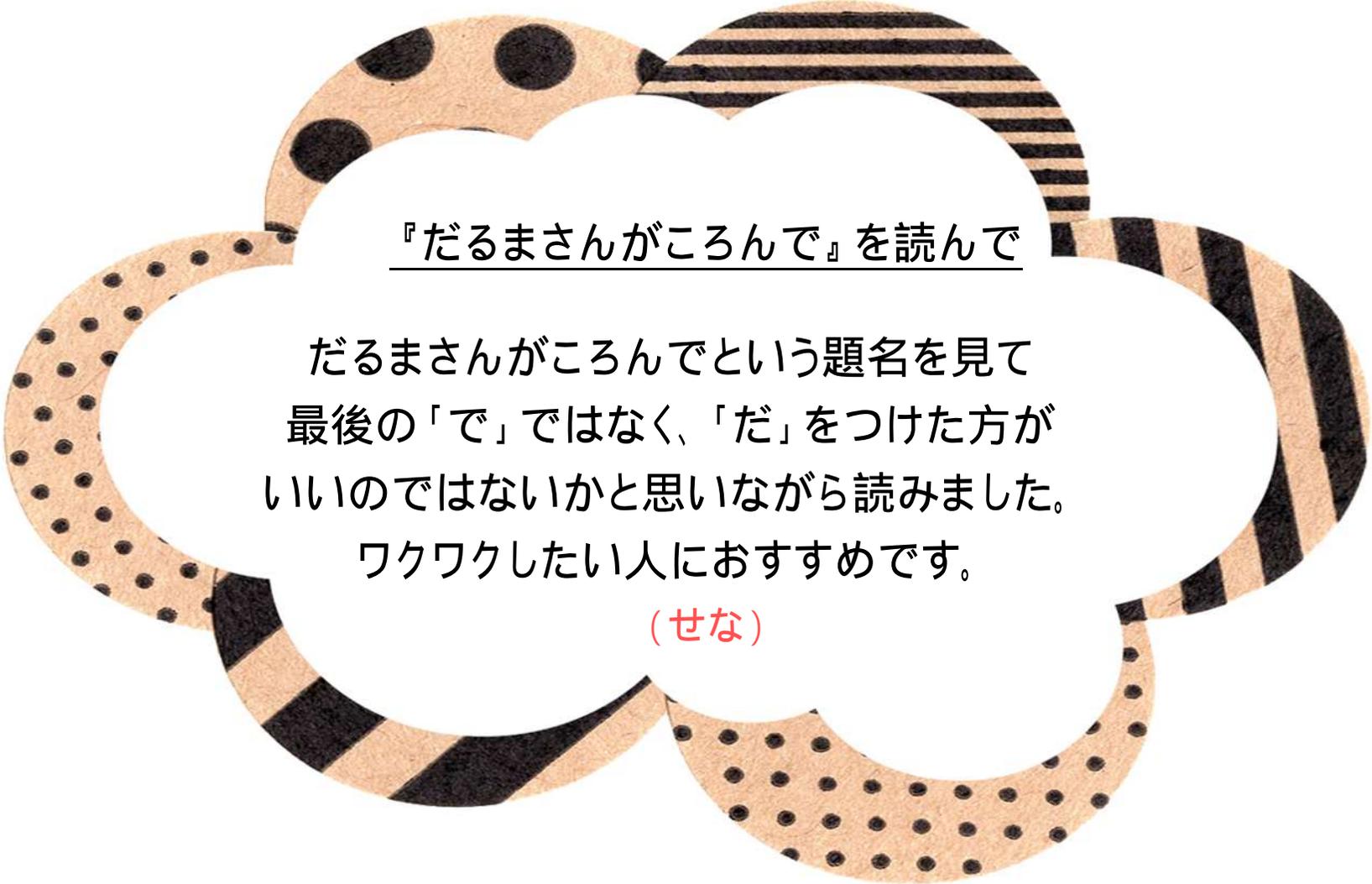
(おとは)



『迷子のトウモロコシ』を読んで

私は最初、なぜこの題名にしたのかなぞでした。
トウモロコシが迷子になるのかな?と
考えながら読んでいきました。
私は最後のげきの場面が印象に残っています。

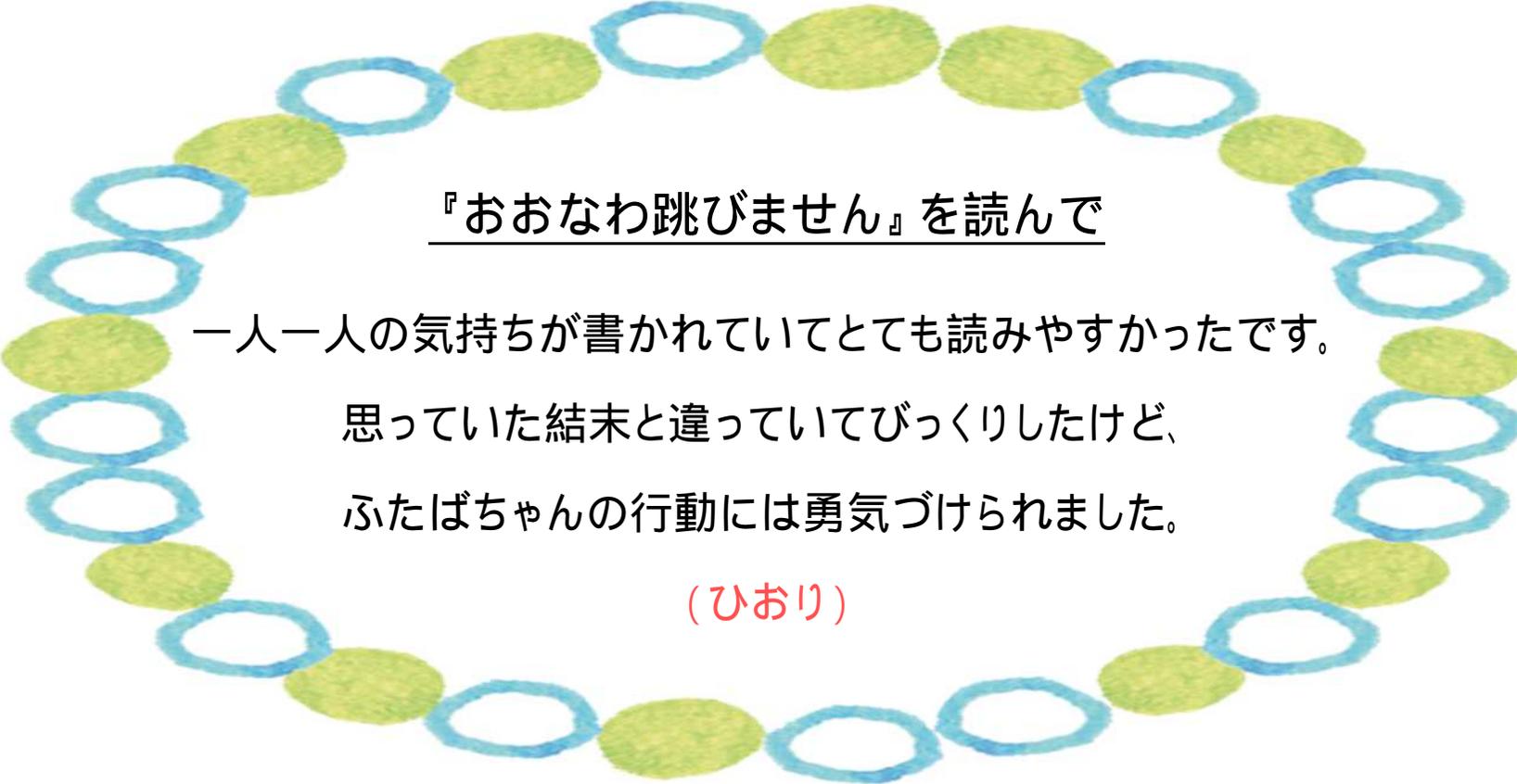
(せな)



『だるまさんがころんで』を読んで

だるまさんがころんでという題名を見て
最後の「で」ではなく、「だ」をつけた方が
いいのではないかと思いながら読みました。
ワクワクしたい人におすすめです。

(せな)



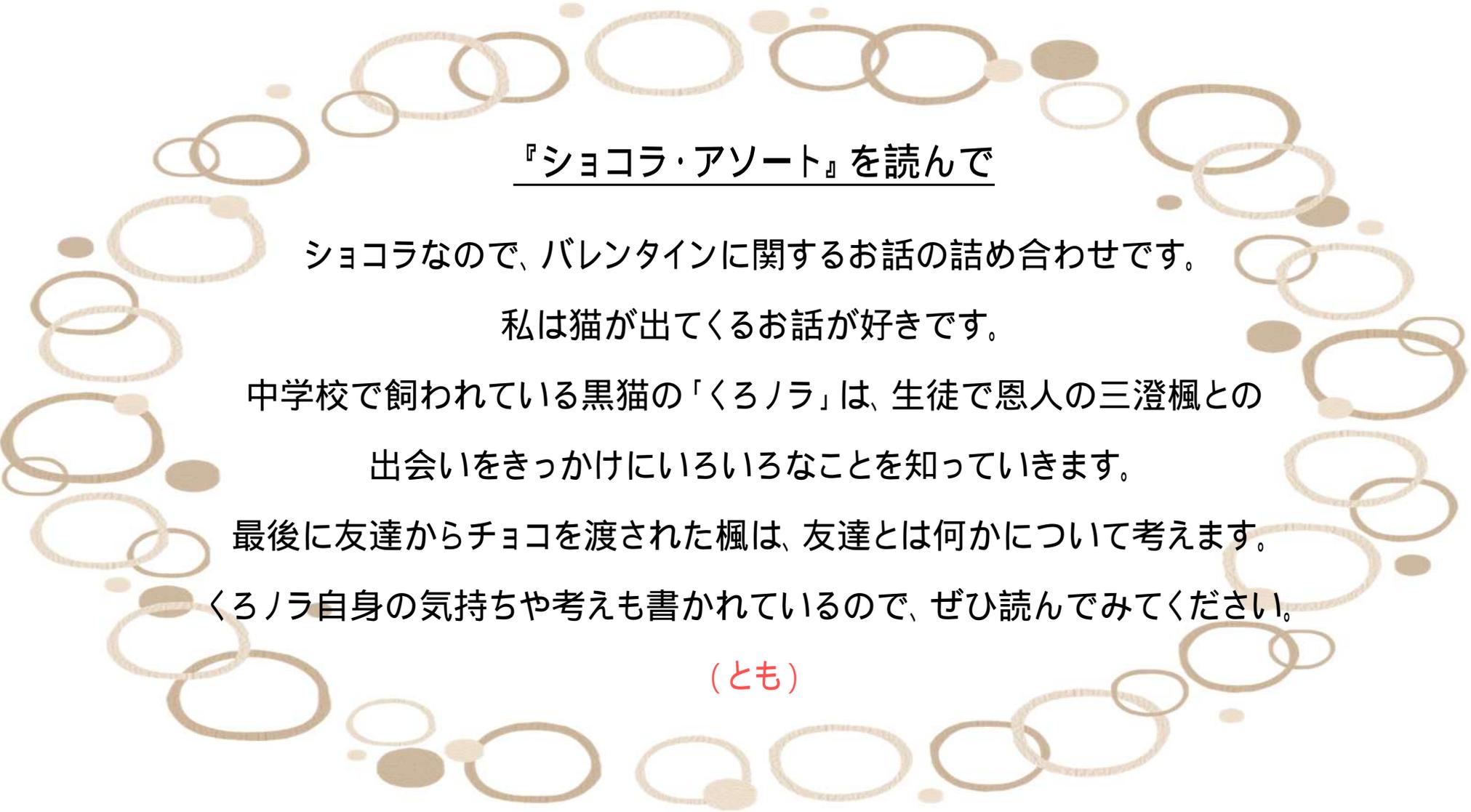
『おおなわ跳びません』を読んで

一人一人の気持ちが書かれていてとても読みやすかったです。

思っていた結末と違ってびっくりしたけど、

ふたばちゃんの行動には勇気づけられました。

(ひおり)



『ショコラ・アソート』を読んで

ショコラなので、バレンタインに関するお話の詰め合わせです。

私は猫が出てくるお話が好きです。

中学校で飼われている黒猫の「くるノラ」は、生徒で恩人の三澄楓との
出会いをきっかけにいろいろなことを知っていきます。

最後に友達からチョコを渡された楓は、友達とは何かについて考えます。

くるノラ自身の気持ちや考えも書かれているので、ぜひ読んでみてください。

(とも)